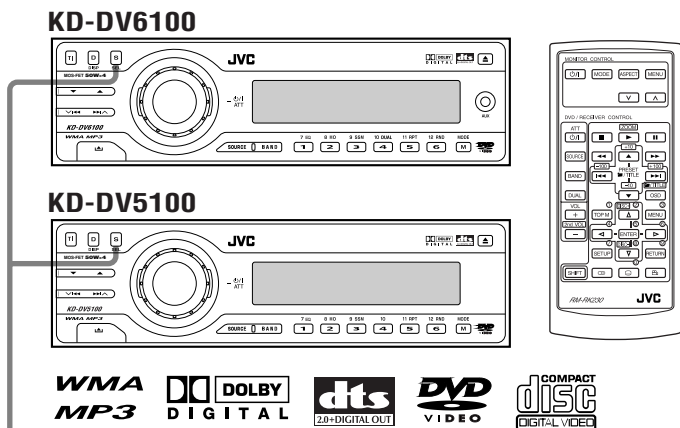


## WMA/MP3対応DVD/CDレシーバー

型名 **KD-DV6100**  
**KD-DV5100**



### デモ表示について

本機にはデモ表示機能がついています。20秒以上ボタン操作をしないと、自動でデモ表示が始まります。

解除するときは、SELボタンを2秒以上押したあと **▶▶** を押して「DEMO」を表示させ、回転ボリュームを左方向に回して「DEMO OFF」に切替えます。

詳しくは44ページの「PSMモードの機能説明」をご覧ください。

### 〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。49ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください。

— お買い上げありがとうございます —

### ⚠ ご使用前に

この「取扱説明書」と別冊の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

# もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意 .....	3~5	● 画面を使って操作する .....	32~39
● 使用上のご注意 .....	6、7	・ 字幕言語を切換える .....	32
・ ディスクの取扱いについて .....	7	・ 音声言語/音声を切換える .....	32
● コントロールパネルの 使いかた .....	8、9	・ アングルを切換える .....	32
・ 各部の名前 .....	8	・ 画面を拡大する .....	32
● リモコン(RM-RK230)の 使いかた .....	10、11	・ ディスクメニューから再生する .....	33
・ 使用上の注意 .....	10	・ PBC機能を「入/切」する .....	33
・ 電池の入れかた .....	10	・ オンスクリーンバーについて .....	34
・ 各部の名前 .....	11	・ オンスクリーンバーの基本操作 .....	34
● 基本操作 .....	12	・ コントロール画面から再生する .....	35
● 時計を合わせる .....	13	・ リスト画面から再生する .....	36
● ラジオを聞く .....	14~18	・ DVD初期設定メニューについて .....	37
・ 放送局を選ぶ .....	14	・ DVD初期設定メニューの基本操作 .....	37
・ アンテナリモートについて .....	14	・ メニューの項目について .....	37
・ 放送局を自動で記憶(メモリー)させる .....	15	・ 言語コード表 .....	39
・ 放送局を選んで記憶(メモリー)させる .....	16	● その他のディスク操作 .....	40、41
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局) .....	16	・ いろいろな再生モードを使用する .....	40
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは .....	17	・ ディスクの盗難防止 .....	41
・ 道路交通情報を聞く .....	17	・ ディスクのお手入れ .....	41
・ 放送受信中の表示内容を変える .....	18	● デュアルゾーン機能を使う .....	42
● ディスクの基礎知識 .....	19~22	・ ヘッドホンで聞く .....	42
・ 本機で再生できるディスク .....	19	● SELボタンを使った各種設定 と調節 .....	43~45
・ ディスクの構造 .....	20	・ PSMモードの設定方法 .....	43
・ 記録型ディスクについて .....	20	・ PSMモードの一覧 .....	43
・ CDテキストについて .....	20	・ PSMモードの機能説明 .....	44
・ MP3/WMAについて .....	21	● iEQの使いかた .....	46
● ディスクを再生する .....	23~31	・ EQパターンを選ぶ .....	46
・ ディスク挿入後の表示について .....	24	● 音量・音質の調節 .....	47
・ 見たい場面や聞きたい曲を選ぶ .....	25	● 放送局名/ディスク名を登録する .....	48
・ 10ずつダイレクトに選ぶ .....	26	● コントロールパネルの着脱 .....	49
・ チャプター/トラックの選びかた .....	26	・ コントロールパネルを外す .....	49
・ タイトル/グループを選ぶ .....	26	・ コントロールパネルを取り付ける .....	49
・ 早送り/早戻しをする(サーチ) .....	27	● CDチェンジャー(別売りの) ディスクを聞く .....	50~52
・ 今見たシーンをもう一度見る .....	28	・ 全曲演奏(全ディスクのくり返し演奏) .....	50
・ コマ送りをする .....	28	・ ディスク演奏中の表示内容を変える .....	50
・ スローモーション再生をする .....	28	・ 頭出しをする(スキップ) .....	51
・ MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序 .....	29	・ 早送り/早戻しをする(サーチ) .....	51
・ ダイレクトフォルダアクセス機能 .....	29	・ 次または前のフォルダにスキップする .....	51
・ 次または前のフォルダにスキップする .....	30	・ ディスクを選ぶ .....	51
・ 再生中に表示されるマークについて .....	30	・ 曲を10ずつダイレクトに選ぶ .....	51
・ ディスク演奏中の表示内容を変える .....	31	・ いろいろな再生モードを使用する .....	52

	ページ		ページ
● 他の機器の音を聞く .....	53	● 主な仕様 .....	58、59
● 故障かな?と思う前に ...	54~56	・ 背面端子からの音声出力について ...	59
・ こんな表示のときは .....	55	・ 商標と著作権 .....	59
● 保証とアフターサービス .....	57	● お手入れ .....	裏表紙
		・ 本体の清掃 .....	裏表紙
		・ 別売りのオプション品 .....	裏表紙

## 安全上のご注意 —はじめにお読みください—

### 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

#### ● 絵表示の説明

##### 注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

##### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

##### 行為を指示する記号



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中にモニターなどの画面を見たり音量調節などの操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

# ⚠ 注意

**本機の通風孔や放熱板をふさがない。**



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。**



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に異物を入れない。**



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に手や指を入れない。**



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

**本機を車載用以外には使用しない。**



- ・感電やけがの原因となることがあります。

**指定の電池以外は使用しない。**



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。**



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。**



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

**電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。**



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

スピーカーの最大入力が50W以下のときは、「AMP GAIN」を「LOW PWR」に設定してお使いください(→45ページ)。

●安全運転のために…

・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。

・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲:0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。

交通安全のため、走行中は映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもサイドブレーキを引かないと、映像は表示されません。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に演奏できないことがあります。

・エアコン(暖房)を入れた直後

・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコード（ツイステッドペア）を利用するとき、左右のスピーカーコード（ツイステッドペア）の○側が車の金属部に接続されていたり○側同士が接続されていると故障の原因になります。

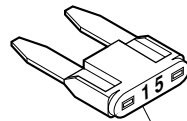
\*BTL:Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

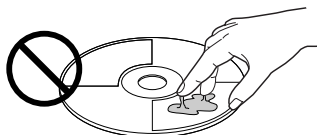
●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

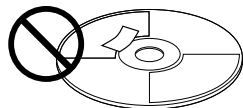
## ディスクの取扱いについて

- **ディスクを保管するときは**  
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **DVD-R/RWやCD-R/RWの取扱いについて**  
DVD-R/RWやCD-R/RWは、通常のDVDビデオや音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **次のようなディスクは使用しないでください。**  
本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反って音飛びしたりディスクに傷がつく原因となります。

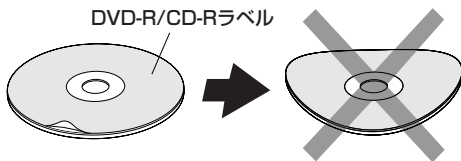
- ・ 中古ディスクやレンタルディスクでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。  
またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルディスクでシールが張ってあるもの(特にめくれているもの)



- ・ 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ・ ラベル面にDVD-R/CD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの

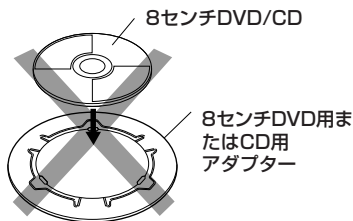


DVD-R/CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

- ・ ラベル面に印刷できる  
インクジェットプリンター対応DVD-R/CD-R (印刷したもの)

※DVD-R/CD-Rラベルや印刷可能DVD-R/CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ハートや花などの形をした特殊形状のディスクは、絶対に使用しないでください。円形以外のディスクを使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチDVD/CD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチDVD/CDは、そのまま挿入してください。

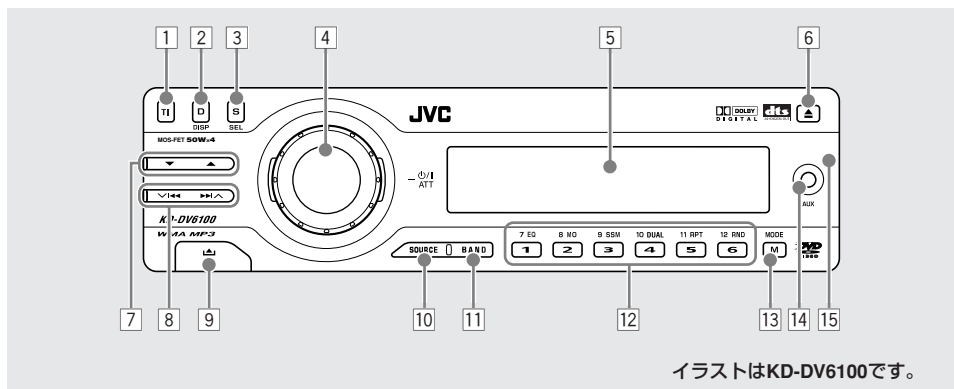


- ディスクを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

# コントロールパネルの使いかた

## 各部の名前

-( )内のページに説明があります。



イラストはKD-DV6100です。

- 1 **TI(交通情報)ボタン (17)**  
交通情報(AM 1620kHzまたはAM 1629kHz)を聞くととき押します。
- 2 **DISP(ディスプレイ)ボタン(18, 31)**  
表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。
- 3 **SEL(セレクト)ボタン**  
・ 押すごとに、フェーダー、バランスなど、音量・音質を調節するメニューが表示されます。(47)  
・ 2秒以上押すと、PSMメニューが表示されます。(13, 43)
- 4 **Φ/I 電源ボタン (12)**  
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。  
**ATT(アッテネーター)ボタン (12)**  
一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。  
**回転ボリューム (12, 13, 43, 46~48)**  
・ 音量を調節するとき回します。  
・ メニュー表示中は、設定値の調節をすることができます。
- 5 **表示窓(ディスプレイ)**
- 6 **▲(ディスク取出し)ボタン (23)**  
ディスクを取り出すときや挿入するとき押します。  
コントロールパネルが開きます。

- 7 **▲/▼ボタン**  
ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	▲/▼ ボタン
「DISC」	<b>DVDビデオ/ビデオCD</b> ▲:再生が始まります。 ▼:停止します。 <b>MP3/WMAディスク</b> グループ(フォルダ)が選ばれます。 <b>MODEボタン</b> を押した後にチャプター/トラックを10ずつ飛ばして選べます。
「CD-CH (チェンジャー)」	<b>MP3ディスク</b> グループ(フォルダ)が選ばれます。 <b>MODEボタン</b> を押した後にトラックを10ずつ飛ばして選べます。
ラジオ	プリセット選局ができます。



8 ▶▶|◀/▶|◀◀ ボタン

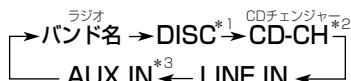
ソース(音源)	▶▶ ◀/▶ ◀◀ ボタン
「DISC」	「ポン」と押すとチャプター/トラックの頭出しができます。 <b>DVDビデオ/ビデオCD/CD</b> 押し続けると早送り/早戻し再生になります。
「CD-CH (チェンジャー)」	「ポン」と押すとトラックの頭出しができます。 <b>CD</b> 押し続けると早送り/早戻し再生になります。
ラジオ	「ポン」と押すとオート選局になります。 押し続けると、マニュアル選局になります。

9 ▲(コントロールパネル取外し)ボタン (49)

コントロールパネルを取り外すとき押します。

10 SOURCE(ソース)ボタン (12)

ソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに次のように切り替わります。



\*1 本機にディスクが入っているとき表示されます。

\*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。KD-DV5100では、EXT IN設定(⇒45ページ)を「EXT IN」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57が必要です。

\*3 KD-DV5100にはAUX IN機能はありません。

11 BAND(バンド)ボタン (14)

ソース(音源)がラジオのとき、バンドを切換えます。押すごとに次のように切り替わります。



12 数字ボタン

・ディスクの曲番号やラジオのプリセット番号を選ぶとき押します。  
・「MODE」が点滅表示しているとき、ファンクションボタンとして働きます。

13 MODE(モード)ボタン

再生モードを切換えたり、EQ(Equalizer: イコライザー)などの機能を使うとき押します。

14 AUX端子 (53) (KD-DV6100のみ)

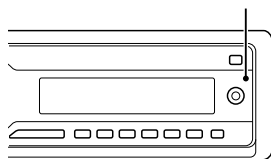
15 リモコン受光部 (10)

# リモコン(RM-RK230)の使いかた

## 使用上の注意

- コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください(動作しないことがあります)。
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。正しい電池と交換しないと爆発のおそれがあります。同一型名または同等品以外の電池とは絶対に交換しないでください。

リモコン受光部

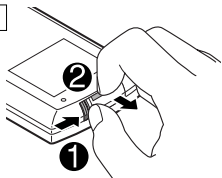


## ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

## 電池の入れかた

リモコン  
裏面



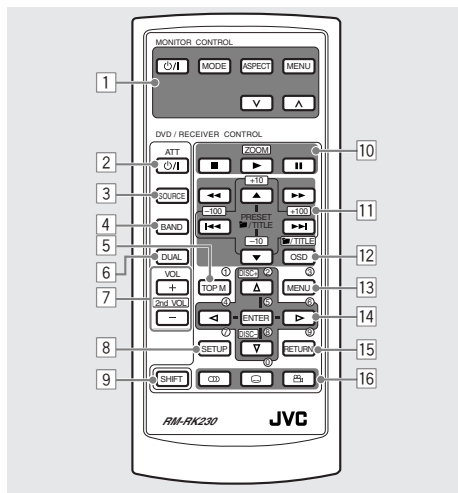
リモコン  
裏面



## ● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

## 各部の名前



- 1 **モニター操作ボタン**  
本機では使用しません。
- 2 **電源ボタン**  
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。  
**ATT(アッテネーター)ボタン**  
一時的に音量を下げるときは「ポン」と押します。
- 3 **SOURCE(ソース)ボタン**  
ソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに、ソース(音源)が切り替わります。
- 4 **BAND(バンド)ボタン**  
押すごとに、バンドが切り替わります。
- 5 **TOP M(トップメニュー)ボタン\***  
DVDビデオのとき、メニュー画面を呼び出すことができます。
- 6 **DUAL(デュアル)ボタン**  
デュアルゾーン機能を使うとき押します。  
KD-DV5100では使用しません。
- 7 **VOL(ボリューム) +/- ボタン\***  
音量を調節します。  
KD-DV6100では、2nd AUDIO OUT端子の音量が調節できます。
- 8 **SET UP(セットアップ)ボタン\***  
DVDビデオの各種設定画面を呼び出します。
- 9 **SHIFT(シフト)ボタン**  
このボタンを押しながら\*印のついたボタンを押すと、数字ボタン(0、1~9、+10、+100)や音量調節ボタンとして働きます。

- 10 **■(停止)ボタン/▶(再生)ボタン/|| (一時停止)ボタン、ZOOM(ズーム)ボタン**  
SHIFT(シフト)ボタンを押したあと▶(再生)ボタンを押すと、ZOOM(ズーム)ボタンとして働きます。

- 11 **▶▶、◀◀ボタン**  
ディスクの早送りや巻き戻し、スローモーションの再生ができます。

**▲、▼ボタン\*****ラジオのとき:**

プリセットしてある放送局(1ch~6ch)の選局ができます。

**「DISC」のとき:**

タイトルやチャプターが選べます。

**MP3/WMAディスクのとき:**

押すごとに次のフォルダにスキップします。

**▶▶、◀◀ボタン\*****ラジオのとき:**

選局(オート選局)ができます。

「DISC」または「CD-CH(チェンジャー)」のとき: 曲の頭出しができます。

- 12 **OSDボタン、■/TITLEボタン**

**「DISC」のとき:**

ディスクの情報を表示するステータスバーや、ディスクの操作を行うためのメニューバーを表示させます。

**DVDビデオまたはMP3/WMAディスクのとき:**

SHIFT(シフト)ボタンを押したあとには、■(フォルダ)/TITLE選択の切り換えができます。

- 13 **MENU(メニュー)ボタン\***  
DVDビデオやPBC対応のビデオCDのとき、メニュー画面を呼び出すことができます。

- 14 **カーソル(▷/◁/△/▽)ボタン\*/ENTERボタン\***  
テレビ画面上での選択、決定の操作に使用します。

**DISC +/- ボタン\***

CDチェンジャーをお使いのとき、ディスクを切替えます。

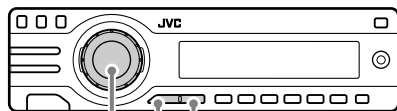
- 15 **RETURNボタン**  
PBC対応のビデオCDを操作するとき使用します。

- 16 **Ⓜ(オーディオ)ボタン/☑(字幕)ボタン/Ⓜ(アングル)ボタン**  
DVDビデオやビデオCDの音声や、DVDビデオの字幕、アングルを切替えることができます。

# 基本操作

## 準備

- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。



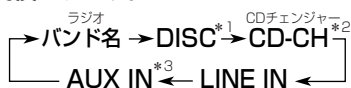
1・3 2 2 (ラジオのとき)

## 1 を押して電源を入れる

表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はラジオの「FM1」…が表示されます。

## 2 を押してソース(音源)を選ぶ

押すごとに、次のようにソース(音源)が切替わります。

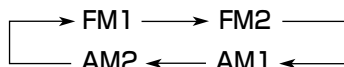


\*1 本機にディスクが入っているとき表示されます。

\*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます(⇒45ページ)。

\*3 KD-DV5100にはAUX IN機能はありません。

**BAND** : ソース(音源)がラジオのとき、押すごとにバンドが切替わります。



## 3 を回して音量を調節する

調節範囲は「VOL 00」から「VOL 50」までの51段階です(初期設定「VOL 15」)。

- 音量を一時的に下げる



を「ポン」と押します。

「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。


- 電源を「切」にする



を1秒以上押します。

「SEE YOU」と表示され、電源が「切」になります。このとき、車のエンジンキーが「ACC」または「ON」の位置にあると、本体の回転ボリュームリングのイルミネーションが薄く点灯します。

- 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。

 : ▲(ディスク取出し)ボタン  
ディスクの出し入れ

 : DISPボタン  
5秒間の時刻表示

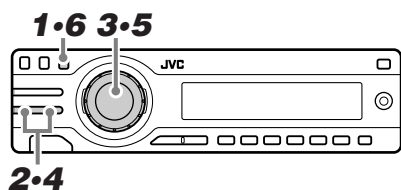
ただし、電源を「入」にすることはできません。

## 〈お知らせ〉

- 音量・音質の調節については47ページをご覧ください。

# 時計を合わせる

- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。



## 1 SEL を2秒以上押す

PSM\*メニュー表示になり、前回選んだ項目が表示されます。

例:「DEMO」が表示されているとき



## 2 クロック 右向きボタンを押して「CLOCK H (時)」を選ぶ



## 3 時計のダイヤルを回して「時」を合わせる



## 4 クロック 左向きボタンを押して「CLOCK M (分)」を選ぶ



- 左向きボタンを押すと、「CLOCK H」に戻ります。

## 5 時計のダイヤルを回して「分」を合わせる



## 6 SEL を押す

元のソース(音源)の表示に戻ります。

SEL を押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

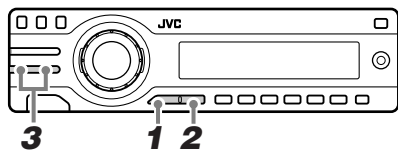
\* PSMとは…  
プリファード セッティング モード  
Preferred Setting Mode (優先設定モード)の略です。

## 〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~6の操作をします。
- SEL を使ってその他の各種設定を変更したいときは、43~45ページをご覧ください。

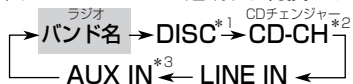
# ラジオを聞く

## 放送局を選ぶ



### 1 SOURCE を押してラジオ(バンド名表示)を選ぶ

押すごとに、ソース(音源)が切り替わります。



\*1 本機にディスクが入っているとき表示されます。

\*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。KD-DV5100では、EXT IN設定(⇒45ページ)を「EXT IN」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57が必要です。

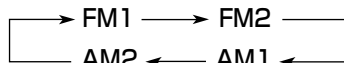
\*3 KD-DV5100にはAUX IN機能はありません。

#### リモコンで操作する

[SOURCE] を押すごとに、ソース(音源)が切り替わります。

### 2 BAND を押してバンドを切替える

押すごとに、バンドが切り替わります。



現在のバンド名が表示されます



ステレオ放送を受信すると表示されます

#### リモコンで操作する

[BAND] を押すごとに、バンドが切り替わります。

### 3 周波数調整ボタンを押して選局する

周波数が下がります。 周波数が上がります。

#### ● オート選局(シーク):

「ポン」と押して離す。

本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。

#### ● マニュアル選局:

1秒以上押して「M」を点滅表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。

・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

#### リモコンで操作する

[<<] / [>>] を押すと、オート選局が始まります。

・リモコンでは、マニュアル選局はできません。

## <お知らせ>

● 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、受信状態の良い場所に移動してもらう一歩、<< または >> を押しください。

● マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。

● AM放送はモノラル受信です。

## アンテナリモートについて

● 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、

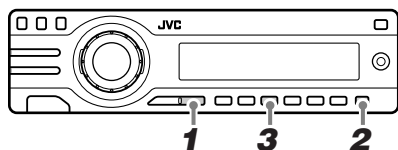
[アンテナコントロール電源] コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)をラジオにすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「DISC」や「CD-CH」などにソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源)コードの最大コントロール電流は250mAです

## 放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強いFM放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



## 1 BAND を押して「FM1」または「FM2」を選ぶ

バンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

例:FM1のとき



## 2 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。



5秒以内に

手順3に進んでください。

## 3 SSM を1秒以上押す

「SSM」が点滅表示されます。



自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでのFM放送局を数字ボタンの1~6に記憶していきます。



すべての記憶が終わると、数字ボタンの「1」に記憶された放送局が表示されます。

### 〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くとときは、プリセット選局が利用できます(⇒16ページ)。
- AM放送のときはSSM機能が動きません。

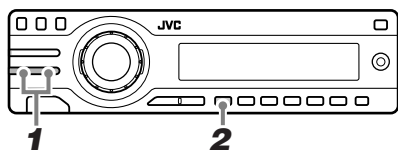
# ラジオを聞く(つづき)

## 放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることができます。

- 数字ボタンの記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。FM放送の場合、あとからSSM機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。
- AM放送は、この手順で記憶(メモリー)させてください。

例: FM放送の81.3 MHzを数字ボタン①に記憶させる

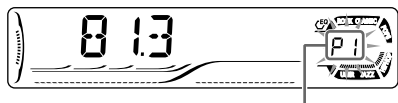


### 1 選局ボタンでFM81.3 MHzを選局する

「放送局を選ぶ」のオート選局(シーク)またはマニュアル選局(⇒ 14ページ)をご覧ください。

### 2 ① を2秒以上押す

「P1」が点滅表示され、放送局が記憶されます。



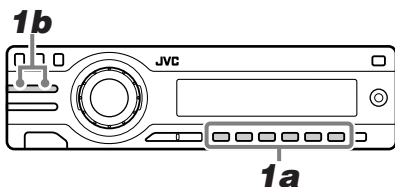
プリセット番号表示

## 〈お知らせ〉

- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いと記憶されません。
- プリセット番号表示は、しばらくするとバンド名表示に戻ります。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

## 放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン1~6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



### 1a 数字ボタンの1~6のいずれかを押し選局する



リモコンで操作する

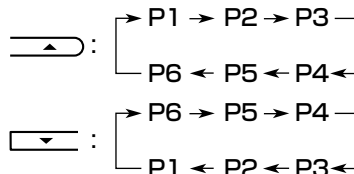
SHIFT を押しながら、数字ボタンの①~⑥を押します。

## 〈お知らせ〉

- 数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください。

### 1b ① または ② を押し選局する

押すごとにプリセットされている放送局が選べます。



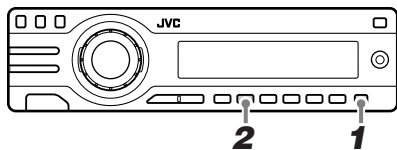
リモコンで操作する

▲/▼ を押すごとにプリセット番号が切替わります。



## FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切替えます。



## 1 MODE (M) を押す

「MODE」が点滅表示されます。



5秒以内に

## 2 MONO (2) を押す

押すごとに「MONO」と「MONO OFF」が切替わります。



MO表示

**MONO** : FM放送はモノラル受信となり雑音が少なくなります。表示窓にMO表示が点灯します。

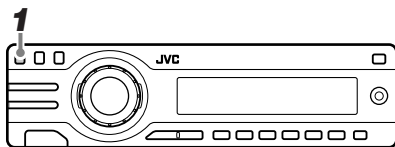
**MONO OFF** : FM放送はステレオ受信になります。FMステレオ放送を受信するとST表示が点灯します。

MODE

(M) を押すかまたは、5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

## 道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。



## 1 TI を押す

TI\*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。



AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは：

▶▶◀ または ◀◀▶ を押します。もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース(音源)に戻すときは：

もう一度 TI を押します。

## 〈お知らせ〉

- 本機では、放送局ごとに名前を登録することができます(⇒ 48ページ)。AM1620kHzまたはAM1629kHzに放送局名を登録しているときは、TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、登録した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度TIボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。

\* TIとは…

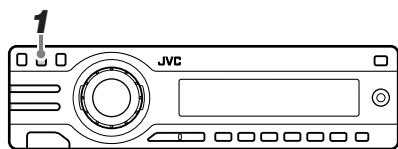
トラフィック インフォメーション

Traffic Information(交通情報)の略です。

# ラジオを聞く(つづき)

## 放送受信中の表示内容を変える

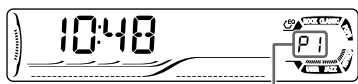
放送受信中に、表示を変えることができます。



### 1 を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切替わります。

#### 時刻表示



↓  
プリセット選  
局のとき表示  
されます。

#### 放送局名表示\*



#### 周波数表示




## 〈お知らせ〉

- \* 48ページの「放送局名/ディスク名を登録する」の操作で登録した放送局名が表示されます。放送局名を登録していないときは、「NO NAME」と表示されます。

# ディスクの基礎知識

## 本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下のとおりです。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ 	音声+映像	12センチ 8センチ
ビデオCD  Video CD	音声+映像	12センチ 8センチ
オーディオCD  	音声	12センチ 8センチ

DVDビデオフォーマットやMP3/WMAをUDFブリッジフォーマットで記録したDVD-R/-RW、音楽用のCDフォーマットやMP3/WMAをISO9660フォーマットで記録したCD-R/RWを再生できます。本取扱説明書では、MP3/WMAファイルを記録したディスクを「MP3/WMAディスク」と呼びます。

ただし、ディスクの特性や記録状態によっては、再生できないこともあります。

### ●再生できないディスク

DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、DVD-VRフォーマットで記録されたDVD-RW、CD-ROM、フォトCD、CD-I、SACD

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカを破損することがあります。CDグラフィックス、CDエキストラの場合、音声のみ再生できます。

### <お知らせ>

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しない音楽ディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠する音楽ディスクであることをお確かめください。
- 本機は、マクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号の入っているDVDビデオはビデオデッキで録画できません。

### ●リージョン番号(ローカル番号)について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がDVDプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

本機で再生できるディスクの表示例:



### ●テレビ方式について

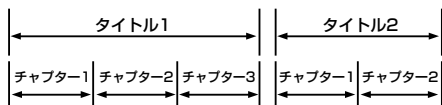
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式エヌティシーエスシーに適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式(PAL方式)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

# ディスクの基礎知識(つづき)

## ディスクの構造

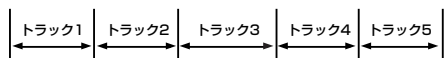
### ■ DVDビデオ

多くのDVDビデオは、「タイトル」と呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。また、タイトルはさらに「**チャプター(章)**」という小さな項目に分割されています。タイトルとチャプターにはそれぞれ番号(タイトル番号、チャプター番号)が付けられていて、それらを選んで再生を始めることができます。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。



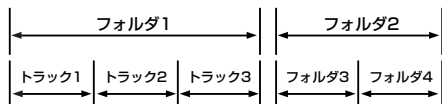
### ■ ビデオCD/オーディオCD

ビデオCDやオーディオCDは、「**トラック**」と呼ばれる項目から構成されていて、それぞれのトラックには番号(トラック番号)が付けられています。たとえば2曲目は、「**トラック2**」となります。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。また、「**インデックス**」と呼ばれる頭出しマークが記録されているディスクもあります。(本機はインデックス・マークの頭出し機能には対応していません)



### ■ MP3/WMAディスク

MP3/WMAディスクには、それぞれの曲が「**ファイル**」として記録されています。また、複数のファイルをジャンル別、アーティスト別などの「**フォルダ**」にまとめて分類できます。さらに「**フォルダの中にフォルダ**」を作ることによりフォルダ/ファイルの階層構造をつくることができます。この階層は、パソコンにおけるフォルダ/ファイルの階層と同じです。



本取扱説明書では、MP3/WMAディスクについて「**ファイル**」と「**トラック**」、「**フォルダ**」と「**グループ**」を同じ意味で使用します。

## 記録型ディスクについて

お客様が編集した**記録型ディスク(DVD-R/-RWやCD-R/RW)**は、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- **記録型ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの使用上の注意をよくお読みください。**
- **ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。また、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。**
- **記録型ディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。**
- **DVD-R/-RWは、DVDビデオフォーマットまたはUDFブリッジフォーマットのディスクのみ再生できます。**
- **CDテキストを入力したCD-R/RWは、テキスト内容により再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。**
- **本機は半角の英数字(1バイト)に限り対応しております。日本語などの全角文字(2バイト)は表示できません。**
- **CD-R/RWにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやディスクドライブ、ライティングソフト)によっては本機では正しく表示されないことがあります。**

## CDテキストについて



本機で**CDテキスト**対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「**CDテキスト**」データを表示します。

- **日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。**

## MP3/WMAについて

## ●再生できるメディア

本機は、お客様が編集されたCD-R/DVD-R(レコーダブル)CD-RW/DVD-RW(リライタブル)ディスク上のMP3/WMAファイルを再生することができます。

またCD-R/RWについては、80分(容量700MB)ディスクに対応しています。

本機はマルチセッションで記録したディスクも再生できます。ただし、必ずセッションクローズ処理をしてください。

タグ

## ●Tag情報について

本機はTag情報表示に対応しています。MP3ファイルではID3 Tagのバージョン1.0と1.1および2.2、2.3、2.4(アルバム名、アーティスト名および曲タイトル)を表示することができます。WMAファイルでは、WMA Tagを表示することができます。

・日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。

## ●ファイル名とフォルダ名の入力

表示できる文字種は、半角英数文字と半角英字記号です。(半角カナ、ひらがな、漢字および全角の英数文字が含まれていると、**FOLDER 01**または**TRACK 01.mp3**などと表示されます。ただし、**Joliet**形式の場合**FOLDER 01**または**TRACK 01.mp3**などと表示されないことがあります)。また、MP3/WMAファイルと識別され再生できるファイルは、MP3の拡張子\*(.MP3)またはWMAの拡張子(.WMA)がついたものだけです。

## 〈お知らせ〉

● 拡張子(.MP3.またはWMA)は、必ず半角で入力してください。全角で入力すると、MP3/WMAファイルとして識別されません。

● 本機は次のファイルの再生には対応していません。

- ・ MP3i(interactive)、MP3PRO
- ・ WMA-DRM
- ・ m3u形式のプレイリスト

\* 拡張子とは

ファイルの種類や記録形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。

● 使用できるディスクのフォーマット  
本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

## CD-R/-RWのフォーマット

- ・ ISO9660レベル1/2
- ・ Romeo
- ・ Joliet
- ・ Windows拡張

## DVD-R/-RWのフォーマット

- ・ UDFブリッジ

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- ・ 最大フォルダ数:250
- ・ 最大フォルダ階層:制限なし
- ・ 1フォルダ内の最大ファイル数:999
- ・ 1ディスクの最大ファイル数:1100

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常に再生できなかったりファイル名/フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

ファイル名/フォルダ名はディスクフォーマットやファイルシステムによって最大文字数が定められているのでご注意ください。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

## ●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMAファイルを作成するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128kbpsの固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときは、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときは「Disc at Once」の設定をしてください。


# ディスクの基礎知識(つづき)

## MP3/WMAについて(つづき)

### ● 次のようなディスクおよびMP3/WMAファイルは再生できません

- ファイル名に拡張子が付いていない。
- CD-R/RWへの記録方式がパケットライト方式である。
- ファイルの拡張子が「.MP3」または「.WMA」でない、または半角ではない。
- ファイルデータがMP3/WMAデータ方式ではない。
- 記録状態(データの欠落など)やメディアの状態(汚れ、傷、そりなど)によっては再生できないことがあります。
- 拡張子は「.MP3」だが「Layer 1/2でエンコード」されているMP3ファイル。
- 各セッションをセッションクローズ処理していない。(ディスクが識別されません)
- WAVEファイル、ATRAC3及びMPEG2.5などのファイル。





### ● ディスクを再生する前に

- DVDビデオの音声や字幕などは、「DVD初期設定メニュー」であらかじめ設定しておくことができます。設定を変更したいときは、**37**ページをご覧ください。
- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。  
本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。  
このようなときは、テレビ画面に「」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- Mixed-CDで記録されている場合、1曲目が「00' 00"」表示のまま再生しません。数字ボタンなどで2曲目以降にスキップすると再生します。

### ● 用語解説

- CD-DA ..... 音楽用CDデータのことで。
- Mixed-CD ..... データトラックの後にオーディオトラック(音楽CDデータ)を追加してからクローズセッションしたCD。
- Enhanced CD ..... オーディオトラック(音楽CDデータ)の後にデータトラックを追加してからクローズセッションしたCD。本機では、オーディオトラック部分のみ再生できます。
- マルチセッション ... 複数のセッションで記録する方式のことで、データの追記が可能です。

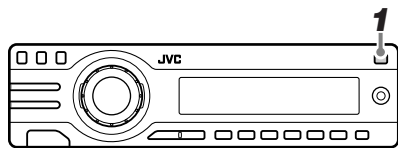
本取扱説明書では、機能ごとに次のマークを示し、どの種類のディスクで操作ができるのかをお知らせしています。

	: DVDビデオ
	: ビデオCD
	: CD/CDテキスト
	: MP3/WMAディスク

- **車内でおタバコを吸われるお客さまへ**  
車内でおタバコを吸われるときは、エアコンにて外気導入に切り替え、窓を少し開けるなどして、できるだけ煙が車外に排出されるよう心がけてください。タバコのヤニがDVDプレーヤーのピックアップ表面に付着すると、読み取り不良の原因となります。

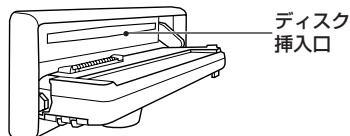
# ディスクを再生する

DVDビデオ CD MP3 WMA

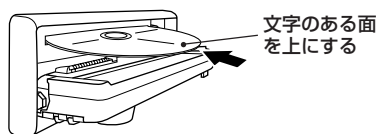


## 1 ▲ (ディスク取出し)を押す

コントロールパネルが開いてディスクの挿入口が現われます。



## 2 ディスクを入れる



途中まで入れると、ディスクが自動で中に引き込まれます。  
8センチディスクは、挿入口の中央から軽く押し入れます。


## 3 コントロールパネルを閉じる

コントロールパネルをカチッとロックする位置まで戻します。ソース(音源)が「DISC」になり再生が始まります。

再生を止めるまで、すべての曲がくり返し再生されます(DVDビデオを除く)。

再生を止める:

を押してディスクを取り出すが、

を押してソース(音源)を切換えます。

## 〈お知らせ〉

- ディスクの種類によっては、読み取りに時間がかかることもあります。
- DVDビデオなどの映像ソフトを再生するときは、本機に接続したモニターの電源を「入」にし、映像入力を合わせます。
- DVDビデオのマルチチャンネル音声は、2チャンネルにダウンミックスされてスピーカーから出力されます。マルチチャンネル音声を楽しむには、本機のDIGITAL OUT端子にデコーダーを接続する必要があります。

## ● 再生を一時停止する

**リモコンのみ**

DVDビデオ CD MP3 WMA

を押します。  
表示窓に「PAUSE」と点滅表示されます。

を押すと通常の再生に戻ります。


## ● 再生を停止する

**リモコンのみ**



DVDビデオ CD MP3 WMA

を押します。  
表示窓に「STOP」と点滅表示されます。


を押すと通常の再生に戻ります。

MP3/WMAディスク以外のディスクのときは、停止した位置が記憶されます。を押すと、停止位置から続きが再生されます(リジューム再生:ただしデュアルゾーン使用時は働きません)。  
MP3/WMAディスクのときは、停止したトラックの頭から再生が始まります。

DVDビデオ CD MP3 WMA

で再生を停止、で再生を始めることができます。

## ● ディスクを取り出す

を押してコントロールパネルを開けると、ディスクが出てきます。

ディスクを入れる前のソース(音源)に戻ります。

- ディスクを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます。

# ディスクを再生する(つづき)

## ディスク挿入後の表示について

ディスクを挿入すると本体表示窓に「PLAY --」が表示されます。

- DVD ビデオ
ビデオ CD
CD
MP3 WMA

総タイトル数



再生経過時間



現在のチャプター番号

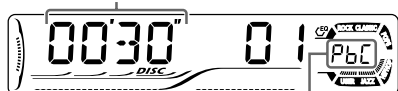
- DVD ビデオ
ビデオ CD
CD
MP3 WMA

総再生時間

総トラック数



再生経過時間



PBC再生のとき表示されます。

- DVD ビデオ
ビデオ CD
CD
MP3 WMA

総演奏時間

総トラック数



CDテキスト情報(ディスク名/アーティスト名/トラック名)のスクロール表示

再生経過時間

トラック番号



- DVD ビデオ
ビデオ CD
CD
MP3 WMA

総フォルダ数



どちらかが表示されます

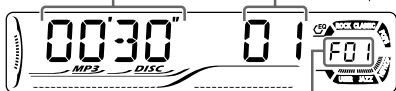
総トラック数



Tag情報(アルバム名/アーティスト名/タイトル名)のスクロール表示\*

再生経過時間

トラック番号



フォルダ番号

\* Tag設定(→ 45ページ)が「ON」のとき。

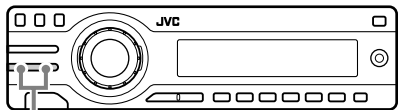


## 見たい場面や聞きたい曲を選ぶ

見たいチャプターや聞きたいトラックの先頭にスキップします。

ただし、同一のタイトル内または同一のグループ内に限ります。

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA



1

### 再生中または一時停止中に

#### 1 再生/一時停止ボタンを押す

押すごとにチャプター/トラックが切り替わります。

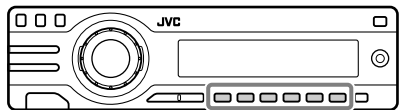
現在または前のトラックの頭に戻ります。 次のチャプター/トラックに進みます。

#### リモコンで操作する

再生/一時停止ボタンを押します。

チャプター/トラック番号を指定して再生することができます(ダイレクト演奏)。ビデオCDでは、PBC機能(⇒ 33ページ)が「切」のときに限ります。

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA



1

### 再生中または一時停止中に

#### 1 数字ボタンを押す

番号1~12までのチャプター/トラックの再生に切り替わります。

番号7~12までを指定するときは、ボタンを1秒以上を押します。

## リモコンのみ

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA

### 再生中または一時停止中に

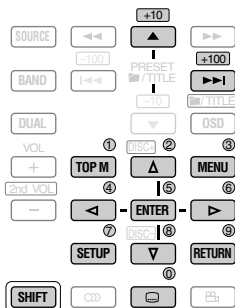
#### 1 SHIFT を押しながら数字ボタンを押す

手順1: 番号1~9までを選ぶ

例: 番号「5」を選ぶ:

SHIFT を押しながら⑤を押します。

ビデオCDのPBC機能が「入」のときはトラックの指定はできません。



手順2: 番号10~99までを選ぶ:

例: 番号「27」を選ぶ:

SHIFT を押しながら+10→+10→⑦を押します。

手順3: 番号100~999までを選ぶ:

例: 番号「228」を選ぶ:

SHIFT を押しながら+100→+100→+10→+10→⑧を押します。

一の位の入力が終わると、指定した番号のチャプター/トラックの再生が始まります。指定した番号が無いときは、入力が無視されます。

## 〈お知らせ〉

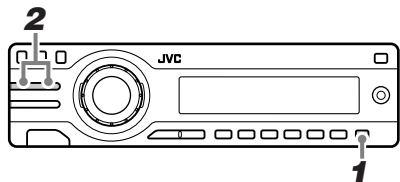
- ダイレクトに選べるのは、MP3/WMAディスクでは、同一のグループ内のトラック、DVDビデオでは同一のタイトル内のチャプターに限ります。
- リモコンの場合、数字ボタンだけでは選べません。必ずSHIFT を押しながら操作してください。
- ダイレクトに①-10 や ①-100 を押すことはできません。

# ディスクを再生する(つづき)

## 10ずつダイレクトに選ぶ

10単位でチャプター/トラックを飛ばして、見たいチャプターや聞きたいトラックを素早くダイレクトに選べます。

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA



### 1 MODE M を押す

「MODE」が点滅表示されます。



5秒以内に

### 2 トラック/チャプターを選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30…)のチャプター/トラック番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつチャプター/トラック番号が変わります。

番号が10戻り ← 番号が10進みます。

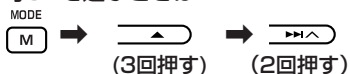
## 〈お知らせ〉

- ダイレクトに選べるのは、MP3/WMAディスクでは、同一グループ内のトラック、DVDビデオでは同一タイトル内のチャプターに限ります。
- チャプター/トラック数が10に足りないときは、最後(または最初)のチャプター/トラックが選ばれます。
- 最後(最初)のチャプター/トラックまで移動した後に次を選ぶと、最初(最後)のチャプター/トラックに戻ります。

## チャプター/トラックの選びかた

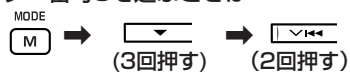
10ずつチャプター/トラックを移動する方法と、1ずつ移動する方法を組み合わせ、目的のチャプター/トラックを素早く選びます。

例：トラック番号6の再生中にトラック番号32を選ぶときは



番号6 → 10、20、30 → 31、32

例：チャプター番号36の再生中にチャプター番号8を選ぶときは



番号36 → 30、20、10 → 9、8

## タイトル/グループを選ぶ

DVDビデオのタイトルやMP3/WMAディスクのグループを選びます。

### リモコンのみ

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA

### 1 トラック/チャプターを選ぶ

選んだタイトル/グループの最初のチャプター/トラックの再生が始まります。

番号が進みます。 ← 番号が戻ります。

リモコンの数字ボタンで、タイトル/グループ番号を指定して再生することもできます。

**リモコンのみ**



**停止中に**

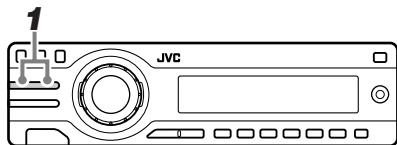
**1** **SHIFT** を押しながらか **TITLE** / **OSD** を押す

10秒以内に

**2** 数字ボタンを押してタイトル/グループを選ぶ

詳しい手順については、**25**ページをご覧ください。

MP3/WMAディスクでは、本体のボタンからでも選べます。

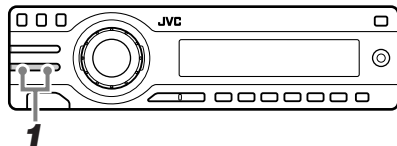


**1** **▲** または **▼** を押す

番号が戻ります。 **▶** / **▶** 番号が進みます。

**早送り/早戻しをする(サーチ)**

再生する速度を変えて、見たい場面や聞きたいフレーズに素早く移動できます。



**再生中に**

**1** **▶▶** または **◀◀** を押し続ける

早戻し再生 **◀◀** / **▶▶** 早送り再生  
になります。

再生速度が「x2」→「x10」と変化します。  
ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

**リモコンで操作する**

**◀◀** / **▶▶** を押し続けます。

**リモコンのみ**

**再生中に**

**1** **◀◀** / **▶▶** を押す

押すごとに、再生速度が「x2」から  
「x60\*」まで段階的に変化します。

\* DVDビデオのときのみ選べます。

**● 通常の再生に戻す**

**▶** を押します。

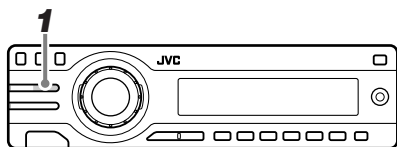
**<お知らせ>**

- 画面を表示しているときは、再生速度が表示されます(CDを除く)。
- 早送り中/早戻し中は、音声は再生されません。
- ディスクの頭まで戻ると、早戻しは自動的に解除されます。

# ディスクを再生する(つづき)

## 今見たシーンをもう一度見る

今見たシーンをワンタッチで戻して、もう一度見ることができます(チョット見バック)。



## 再生中に

### 1 を押す

約10秒前からもう一度再生します。

#### リモコンから操作する

を押します。

## <お知らせ>

- DVDビデオによっては働かないことがあります。
- 再生するタイトルが切換わった直後にチョット見バックを行っても、前のタイトルには戻りません。

## コマ送りをする

静止画をコマ送りで再生することができます。

### リモコンのみ



## 一時停止中に

### 1 を押す

押すごとに画像が1コマずつ再生されます。

## スローモーション再生をする

再生する速度を変えて、スローモーションで再生することができます。

### リモコンのみ



## 一時停止中に

### 1 を押す

押すごとに、再生速度が「1/32」から「1/2」まで段階的に変化します。

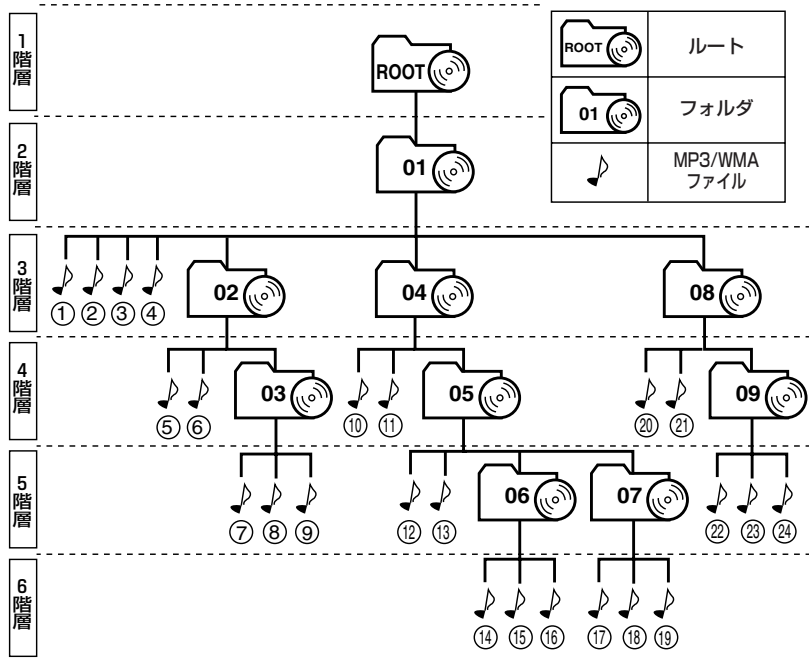
## ● 通常の再生に戻す

を押します。

## <お知らせ>

- 画面を表示しているときは、再生速度が表示されます。
- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- ビデオCDでは逆方向のスローモーション再生はできません。

## MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序



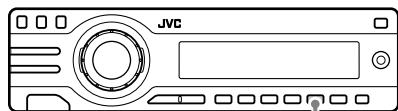
### ダイレクトフォルダアクセス機能

聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。

\* 数字をつけていない場合、上の表の順序で再生されます。

DVD  
ビデオ  
CD  
MP3  
WMA



**1a・1b**

- 「01」から「06」までを選ぶ  
例:フォルダ名「05ABC」を選ぶとき

**1a** を「ポン」と押す

フォルダ「05ABC」の最初のファイルの再生が始まります。

- 「07」から「12」までを選ぶ  
例:フォルダ名「11WXYZ」を選ぶとき

**1b** を1秒以上押す

フォルダ「11WXYZ」の最初のファイルの再生が始まります。

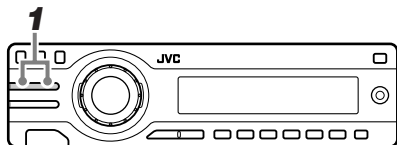
### 〈お知らせ〉

- MP3/WMAファイルを含まないフォルダは、名前の前に数字が付いていても選べません。

# ディスクを再生する(つづき)

## 次または前のフォルダにスキップする

ディスク内のフォルダの再生順序(例として、**29**ページの「01」、「02」、「03」…)にしたがって、フォルダを選ぶことができます。



### 1 ▲ または ▼ を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切換わり、選んだフォルダの最初のファイルの再生が始まります。

前のフォルダ ← ● ▼ ▲ ● → 次のフォルダ  
に移動します。 移動します。

## <お知らせ>

- 最後のフォルダ(**29**ページの例では「09」)まで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ(**29**ページの例では「01」)に戻ります。  
また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

## 再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

⊘ : 本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

▶ : 再生を開始すると表示されます。

⏸ : 一時停止すると表示されます。

▶▶ または ◀◀ : 早送り/早戻しをすると表示されます。

⏪ または ◀ : スローモーション再生をすると表示されます。

🔊 : 複数の音声言語が収録されている場合に表示されます(⇒ **32**ページ)。

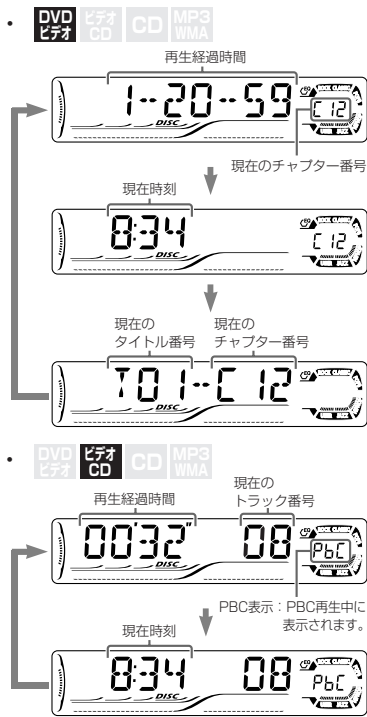
🗣️ : 複数の字幕言語が収録されている場合に表示されます(⇒ **32**ページ)。

🎬 : 複数のアングルが収録されている場合に表示されます(⇒ **32**ページ)。

## ディスク演奏中の表示内容を変える

### 1 DISPを押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切替わります。

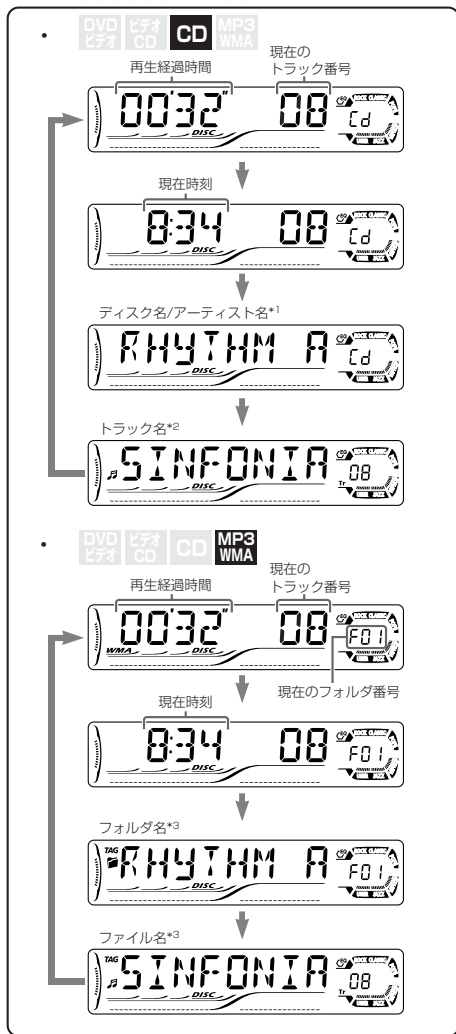


\*1 CDのときは、ディスク名を入力すると表示されます。入力する前は「NO NAME」と表示されます。ディスク名の入力については48ページの「放送局名/ディスク名を登録する」をご覧ください。

\*2 トラック名はCD TEXTのみ表示されます。

### 〈お知らせ〉

- 半角8文字を超えると、ディスク名やファイル名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「ONCE」(お買い上げ時の状態)になっています。「AUTO」(自動)または「OFF」(切)に変えることもできます(⇒ 44ページ)。



\*3 Tagのあるファイルのときは、Tag設定を「ON」にするとTag情報が表示されます。

### 〈お知らせ〉

- 文字表示は半角英数字表示されます。日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。
- 対応以外の文字が入力してあると、正しく表示されません。
- Tag設定については45ページをご覧ください。

# 画面を使って操作する

## 字幕言語を切換える

DVDビデオに収録されている字幕を切換えます。

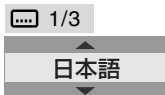
リモコンのみ



再生中に

**1** を押す

押すごとに、字幕が切換わります。



### <お知らせ>

- DVDビデオによっては、ディスクのメニューを使用して字幕言語を切換えることもできます。

## 音声言語/音声を切換える

DVDビデオに収録されている音声言語やビデオCDの音声を切換えます。

リモコンのみ



再生中または一時停止中に

**1** を押す

押すごとに、音声言語/音声が切換わります。



DVDビデオ

ビデオCD

### <お知らせ>

- DVDビデオによっては、ディスクのメニューを使用して音声言語を切換えることもできます。
- ビデオCDの音声は「ST(ステレオ)」「L(左チャンネル)」「R(右チャンネル)」から選べます。

## アングルを切換える

DVDビデオには、1つのシーンに対して複数のカメラからの映像を収録したソフトがあります。

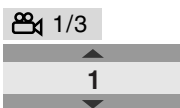
リモコンのみ



再生中または一時停止中に

**1** を押す

押すごとに、アングルが切換わります。



### <お知らせ>

- 字幕、音声言語、アングルは、ディスクに複数収録されているときに限り切換えることができます

## 画面を拡大する

リモコンのみ



再生中または一時停止中に

**1** を押しながら を押す

を押しながら を押すごとに、ズームの度合いが「ZOOM1」から「ZOOM6」まで変化します。

**2** / / / を押して  
拡大したい場所を選ぶ

ZOOMを解除するには、手順1で「ZOOM OFF」を選びます。  
再生を止めてもZOOMは解除されます。



## ディスクメニューから再生する

DVDビデオのメニューや、ビデオCDのPBC（プレイバックコントロール）を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

PBC（プレイバックコントロール）が記録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざま、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報などが表示されます。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

## リモコンのみ

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA

1 **TOP M** または **MENU** を押す

ディスクのメニューが表示されます。

2 **▲**/**▼**/**▶**/**◀** を押して  
項目を選び、**ENTER** を押す

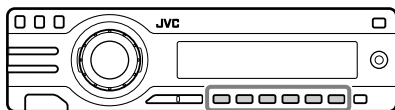
メニューによっては、数字ボタン（①、①～⑨、+10）で項目を選ぶこともできます。

## &lt;お知らせ&gt;

- PBCで前のメニューに戻るときは、**RETURN** を押します。

## PBC機能を「入/切」する

DVDビデオ ビデオCD CD MP3 WMA



1

● PBC機能を「切」にする：  
停止中に1 **1** **2** **3** **4** **5** **6**  
を押してトラックを選ぶ

PBCが「切」になり、指定したトラックの再生が始まります。

## リモコンから操作する

**SHIFT** を押しながら、数字ボタン（①～⑨）を押します。

## ● PBC機能を「入」にする：

## リモコンのみ

## 再生中または停止中に

1 **TOP M** または **MENU** を押す

PBCが「入」になり、「PBC」と表示されます。

# 画面を使って操作する(つづき)

## オンスクリーンバーについて

オンスクリーンバーを使って、ディスクの情報を見たり、ディスクを操作することができます。

### リモコンのみ



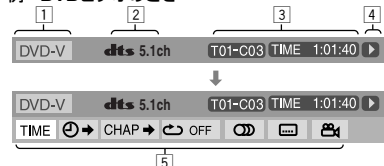
停止中または再生中に

## 1 [OSD] を押してオンスクリーンメニューを表示させる

- CDやMP3/WMAディスクでは1回、DVDビデオやビデオCDでは2回押します。

## 2 [Δ]/[▽]/[▶]/[◀] を押して項目を選び、[ENTER] を押す

例：DVDビデオのとき



- 1 ディスクの種類  
DVD-V VCD CD FILE
- 2 音声信号と再生モード  
デジタル音声フォーマット (ドルビーデジタル、DTS) とチャンネル数 PBC
- 3 再生情報  
T01-C03 : 現在のタイトル/チャプター番号  
TRACK01 : 現在のトラック番号  
TOTAL : ディスクの再生経過時間  
T.REM : タイトルの残り再生時間 (DVDビデオ)  
: ディスクの残り再生時間 (ビデオCD)  
TIME : 現在のチャプター/トラックの再生経過時間  
REM : 現在のチャプター/トラックの残り再生時間
- 4 再生状態  
▶ : 再生中 □ : 停止  
⏸ : 一時停止 ⏪ ⏩ : 早送り/早送り再生中  
⏮ ⏭ : 逆転スロー/スロー再生中
- 5 各種操作アイコン  
TIME : 時間表示を切り換える  
⌂ : 時間を指定して再生する  
TITLE → : タイトルを選んで再生する  
CHAP. → : チャプターを選んで再生する  
TRACK → : トラックを選んで再生する  
🔊 : 音声言語/音声を選ぶ  
📄 : 字幕を選ぶ  
📷 : アンクルを選ぶ  
⏻ OFF : リピートモードを選ぶ (DVDビデオ)  
REPEAT : リピートモードを選ぶ (DVDビデオ以外のディスク)  
INTRO : イントロスキャンをする  
RAND : ランダムモードを選ぶ

## オンスクリーンバーの基本操作

例：DVDビデオの字幕を切換える

### リモコンのみ



オンスクリーンバー表示中に

## 1 [▶]/[◀] を押して [⋮] (字幕アイコン) を選び、[ENTER] を押す

## 2 [Δ]/[▽] を押して希望の字幕を選び、[ENTER] を押す

例：再生する時間を指定する

### リモコンのみ



オンスクリーンバー表示中に

## 1 [▶]/[◀] を押して ⌂ を選び、[ENTER] を押す

選んだアイコンの色が変わります。

## 2 再生する時間を入力する

数字ボタンで入力：[SHIFT] を押しながら数字を入力します。「1:12:51」なら、「1」→「1」→「2」→「5」→「1」と入力します。

カーソルボタンで入力：[▶]/[◀] で入力位置を移動させ、[Δ]/[▽] で数字を増減させます。

## 3 [ENTER] を押して入力を確定する

● オンスクリーンバーを消すには

[OSD] をくり返し押して消します。

<お知らせ>

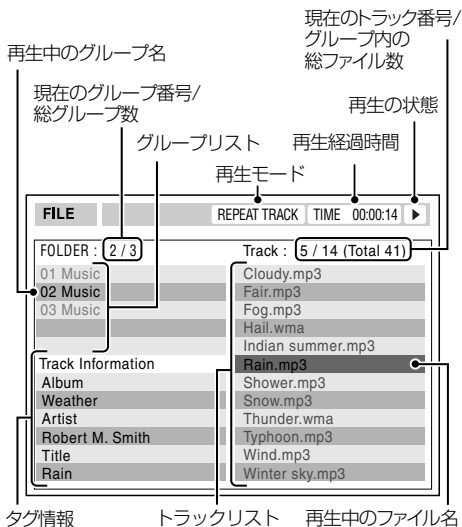
● CDチェンジャーは、画面表示に対応していません。

## コントロール画面から再生する

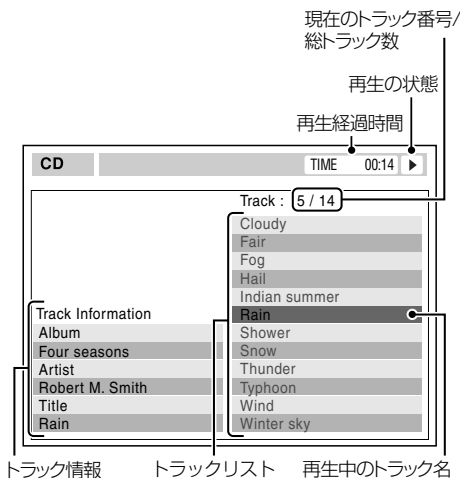
コントロール画面を使ってディスク内のトラックやグループをダイレクトに再生することができます。

コントロール画面は、CDやMP3/WMAディスクを本機で再生すると自動で画面に表示されます。

### ● MP3/WMAディスクのコントロール画面



### ● CD/CDテキストのコントロール画面



## リモコンのみ

DVD  
ビデオ

ビデオ  
CD

CD

MP3  
WMA

### コントロール画面表示中に

**1** ▶/◀ を押して「グループリスト」選び、▲/▼ を押して聞きたいグループを選び (MP3/WMAディスクのみ)

聞きたいグループを選んだら、▶ を押してトラックリストに移動します。

**2** ▲/▼ を押して聞きたいトラックを選び [ENTER] を押す

指定したトラックの再生が始まります。他のトラックの再生中に選んだときは、すぐに再生が始まります。

### <お知らせ>

- CDチェンジャーは、画面表示に対応していません。

# 画面を使って操作する(つづき)

## リスト画面から再生する

リスト画面を使ってディスク内のグループやグループ内のトラックを探することができます。

### ● グループリスト画面(MP3/WMAディスクのみ)

現在のグループ番号/  
総グループ数

現在のトラック番号/  
グループ内の  
総トラック数      このリストのページ数/  
総ページ数

Folder : 153/240		Track 154/198		Page : 4/6	
fol130	fol140	fol150	fol160	fol131	fol141
fol131	fol141	fol151	fol161	fol132	fol142
fol132	fol142	fol152	fol162	fol133	fol143
fol133	fol143	fol153	fol163	fol134	fol144
fol134	fol144	fol154	fol164	fol135	fol145
fol135	fol145	fol155	fol165	fol136	fol146
fol136	fol146	fol156	fol166	fol137	fol147
fol137	fol147	fol157	fol167	fol138	fol148
fol138	fol148	fol158	fol168	fol139	fol149
fol139	fol149	fol159	fol169		

現在のグループ

### ● トラックリスト画面

現在のグループ番号/  
総グループ数  
(MP3/WMAディスクのみ)

現在のトラック番号/  
グループ内の  
総トラック数      このリストのページ数/  
総ページ数

Folder : 153/240		Track 154/198		Page : 4/6	
file0131.mp3	file0141.mp3	file0151.wma	file0161.wma	file0132.mp3	file0142.mp3
file0132.mp3	file0142.mp3	file0152.mp3	file0162.mp3	file0133.wma	file0143.mp3
file0133.wma	file0143.mp3	file0153.wma	file0163.wma	file0134.mp3	file0144.mp3
file0134.mp3	file0144.mp3	file0154.mp3	file0164.mp3	file0135.mp3	file0145.wma
file0135.mp3	file0145.wma	file0155.mp3	file0165.wma	file0136.wma	file0146.mp3
file0136.wma	file0146.mp3	file0156.mp3	file0166.wma	file0137.wma	file0147.wma
file0137.wma	file0147.wma	file0157.mp3	file0167.wma	file0138.mp3	file0148.mp3
file0138.mp3	file0148.mp3	file0158.wma	file0168.wma	file0139.mp3	file0149.wma
file0139.mp3	file0149.wma	file0159.wma	file0169.mp3	file0140.wma	file0150.wma
file0140.wma	file0150.wma	file0160.wma	file0170.wma		

現在のトラック

## <お知らせ>

- CDチェンジャーは、画面表示に対応していません。

## リモコンのみ

DVDビデオ   ビデオCD   CD   MP3 WMA

### 停止中に

#### 1 MENUを押す

グループリスト画面が表示されます。

#### 2 ▲/▼/▶/◀を押して 聞きたいグループを選び、 ENTERを押す

トラックリスト画面が表示されます。

RETURNを押すとグループリスト画面に戻ります。

#### 3 ▲/▼/▶/◀を押して 聞きたいトラックを選び、 ENTERを押す

選んだトラックの再生が始まります。

## リモコンのみ

DVDビデオ   ビデオCD   CD   MP3 WMA

### 停止中に

#### 1 MENUを押す

トラックリスト画面が表示されます。

#### 2 ▲/▼/▶/◀を押して 聞きたいトラックを選び、 ENTERを押す

選んだトラックの再生が始まります。

- リスト画面を消すには

MENUを押します。

## DVD初期設定メニューについて

初期設定メニューを使って、DVDビデオを再生するときの音声や字幕の言語などをあらかじめ設定しておくことができます。

初期設定メニューは、3つの設定メニュー画面で構成されています。

**言語**：複数の音声や字幕が収録されているDVDビデオを再生するときや、メニュー画面の言語などを選ぶことができます。

**映像**：お手持ちのテレビ(モニター)に合わせて画面サイズなどを変更するときを選びます。

**音声**：デジタル出力やダイナミックレンジコンプレッションなどの設定を行います。

## DVD初期設定メニューの基本操作

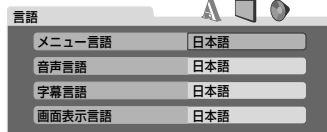
リモコンのみ



ソース(音源)が「DISC」で停止中に

## 1 [SETUP]を押す

DVD初期設定メニュー画面が表示されます。



## 2 &gt;/&lt;を押して設定メニューを選ぶ

## 3 &lt;/&gt;/&lt;/&gt;を押して、設定したい項目を選び、[ENTER]を押す

プルダウンメニューが開きます。

## 4 &lt;/&gt;/&lt;/&gt;を押して、設定したい項目を選び、[ENTER]を押す

項目の設定は終わりです。

[SETUP]を押すと、DVD初期設定メニューは消えます。

## メニューの項目について



言語

## メニュー言語

複数の言語によるメニュー画面が収録されているDVDビデオを再生するとき、あらかじめどの言語のメニューで再生するかを決めておくことができます。

「言語コード表」(⇒ 39ページ)をご覧ください。

## 音声言語

複数の音声が入録されているDVDビデオを再生するとき、あらかじめどの音声で再生するかを決めておくことができます。

「言語コード表」(⇒ 39ページ)をご覧ください。

## 字幕言語

複数の言語による字幕が収録されているDVDビデオを再生するとき、あらかじめどの言語の字幕で再生するかを決めておくことができます。

「言語コード表」(⇒ 39ページ)をご覧ください。

## 画面表示言語

設定メニューの表示言語を切替えることができます。

# 画面を使って操作する(つづき)

## メニューの項目について(つづき)



### モニタータイプ

映画ソフトの多くは、縦横比16対9の横長(ワイド)テレビ用の映像が収録されています。この横長(ワイド)テレビ用の映像を、ご覧になるテレビのタイプに合わせることができます。

「16:9」：横長(ワイド)テレビで見るときに選びます。

### 「レターボックス」

：縦横比4対3のテレビで見るときに選びます。上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。

「パンスキャン」：縦横比4対3のテレビで見るときに選びます。左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。

パンスキャンを選んでも、ディスクが対応していないときは、レターボックスになります。

### OSD表示位置

初期設定メニューとオンスクリーンバーの見えかたを設定します。

「1」：メニュー画面の下のガイダンスとともに表示します。

「2」：ガイダンスを表示せずにメニュー画面をやや下方に表示します。また、オンスクリーンバーもやや下方に表示されるようになります。



### デジタルOUT

本機背面のDIGITAL OUT端子に接続している機器に応じて選びます。音声出力について詳しくは**59**ページを参照してください。

「PCMのみ」：MDレコーダーなどの録音機器に接続するとき選びます。

### 「DOLBY DIGITAL/PCM」

：ドルビーデジタルデコーダー搭載のアンプまたはドルビーデジタルデコーダーに接続するとき選びます。

### 「ストリーム/PCM」

：DTSデコーダーやドルビーデジタルデコーダー搭載のアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき選びます。

### ダウンミックス

マルチチャンネル信号が、本機のLINE OUT端子から出力されるときの設定をします。

「デジタルOUT」の設定が「PCMのみ」のときは、「ステレオ」に設定するとDIGITAL OUT端子からドルビーサラウンド信号は出力されません。

### 「ドルビーサラウンド」

：マルチチャンネル信号を本機から出力し、ドルビーサラウンド対応アンプで音声を楽しむとき選びます。

「ステレオ」：通常はこちらを選びます。

### D(ダイナミック)レンジコントロール

この機能を「オン」にすると、小さな音量でも迫力のある音声を楽しめます。

この機能はドルビーデジタルの再生時のみ働きます。

「オート」：1または2チャンネル以外のマルチチャンネル音声に対して働きます。

「オン」：常に働きます。

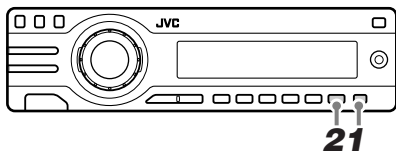
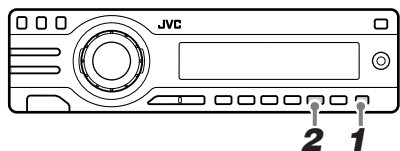
## 言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アフアル語	IK	イヌピック語	RN	キルンディ語
AB	アブバジア語	IN	インドネシア語	RO	ルーマニア語
AF	アフリカンス語	IS	アイスランド語	RW	キニヤルワンダ語
AM	アムハラ語	IW	ヘブライ語	SA	サンスクリット語
AR	アラビア語	JI	イディッシュ語	SD	シンド語
AS	アッサム語	JW	ジャワ語	SG	サント語
AY	アイマラ語	KA	グルジア語	SH	セルボアクロアチア語
AZ	アゼルバイジャン語	KK	カザフ語	SI	シンハラ語
BA	バシキール語	KL	グリーンランド語	SK	スロバキア語
BE	ベラルーシ語	KM	カンボジア語	SL	スロベニア語
BG	ブルガリア語	KN	カナダ語	SM	サモア語
BH	ビハーリー語	KO	韓国(朝鮮)語	SN	ショナ語
BI	ビスラマ語	KS	カシミール語	SO	ソマリ語
BN	ベンガル語、バングラ語	KU	クルド語	SQ	アルバニア語
BO	チベット語	KY	キルギス語	SR	セルビア語
BR	ブルトン語	LA	ラテン語	SS	シスワティ語
CA	カタロニア語	LN	リンガラ語	ST	セストゥ語
CO	コルシカ語	LO	ラオス語	SU	スンダ語
CS	チェコ語	LT	リトアニア語	SW	スワヒリ語
CY	ウェールズ語	LV	ラトビア語、レット語	TA	タミール語
DZ	プータン語	MG	マダガスカル語	TE	テルグ語
EL	ギリシャ語	MI	マオリ語	TG	タジク語
EO	エスペラント語	MK	マケドニア語	TH	タイ語
ET	エストニア語	ML	マラヤーラム語	TI	ティグリニヤ語
EU	バスク語	MN	モンゴル語	TK	トゥルクメン語
FA	ペルシャ語	MO	モルダビア語	TL	タガログ語
FI	フィンランド語	MR	マラータ語	TN	セツワナ語
FJ	フィジー語	MS	マライ(マレー)語	TO	トンガ語
FO	フェロー語	MT	マルタ語	TR	トルコ語
FY	フリジア語	MY	ミャンマー語	TS	ツォンガ語
GA	アイルランド語	NA	ナウル語	TT	タタール語
GD	スコットランドゲール語	NE	ネパール語	TW	トウィ語
GL	ガルシア語	NO	ノルウェー語	UK	ウクライナ語
GN	グアラニ語	OC	プロバンス語	UR	ウルドゥー語
GU	グジャラード語	OM	(アフォン)オロモ語	UZ	ウズベク語
HA	ハウサ語	OR	オリヤー語	VI	ベトナム語
HI	ヒンディー語	PA	パンジャブ語	VO	ヴラピュク語
HR	クロアチア語	PL	ポーランド語	WO	ウォロフ語
HU	ハンガリー語	PS	パシュトー語	XH	コーサ語
HY	アルメニア語	PT	ポルトガル語	YO	ヨルバ語
IA	国際語	QU	ケチュア語	ZU	ズール語
IE	国際語	RM	ラエティ-ロマン語		

画面を使って操作する(つづき)

# その他のディスク操作

いろいろな再生モードを使用する



## ● リピート再生

DVDビデオ CD MP3 WMA

DVDビデオ:再生中または一時停止中  
ビデオCD:PBC機能「切」

### 1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

### 2 RPT を押す

押すごとにリピート再生のモードが切り替わります。

**CHP RPT** : DVDビデオの再生中のチャプターをくり返す。  
RPT表示が点灯。

**TIT RPT** : DVDビデオの再生中のタイトルをくり返す。  
RPT表示と表示が点灯。

**TRK RPT** : 再生中のトラックをくり返す。  
RPT表示が点灯。

**FLDR RPT** : MP3/WMAディスクの再生中のフォルダ内のトラックをくり返す。RPT表示と表示が点灯。

**RPT OFF** : リピート再生を解除(DVDビデオ以外のディスクではディスクのリピート再生になります)。

#### リモコンから操作する

OSDを押してオンスクリーンバーを表示させて、リピート再生モードを選びます(→ 34ページ)。

## ● ランダム再生

DVDビデオ CD MP3 WMA

### 1 MODE を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

### 2 RND を押す

押すごとにランダム再生のモードが切り替わります。

**FLDR RND** : MP3/WMAディスクのフォルダ内の全トラックをランダムに再生。  
RND表示と表示が点灯。

**DISC RND** : ディスク内の全トラックをランダムに再生。  
RND表示と表示が点灯。

**RND OFF** : ランダム再生を解除。

#### リモコンから操作する

OSDを押してオンスクリーンバーを表示させて、ランダム再生モードを選びます(→ 34ページ)。

## ＜お知らせ＞

- 本体で操作する場合と、リモコンで操作するときでは本体表示窓とモニターの表示で表示内容が異なります。



## いろいろな再生モードを使用する(つづき)

### ● イントロスキャン

#### リモコンのみ



## 1 [OSD]を押してオンスクリーンバーを表示させる

例：CDのとき



- CDやMP3/WMAディスクでは1回、DVDビデオやビデオCDでは2回押します。

## 2 [▶]/[◀]を押してINTROを選び、[ENTER]を押す

押すごとにイントロスキャンのモードが切替わり、オンスクリーンバーに次のように表示されます。

#### INTRO TRACK:

ディスク内の全トラックを15秒ずつ再生。  
本体表示窓に「TRK INT」と表示。

#### INTRO FOLDER:

MP3/WMAディスクの各フォルダの最初のトラックを15秒ずつ再生。  
本体表示窓に「FLDR INT」と表示。

**表示なし**：イントロスキャンを解除。  
本体表示窓に「INT OFF」と表示。

- 聞きたいトラックが見つかったら [◀] を押します。
- 一通りイントロスキャンが終わると自動で解除されます。

### ● オンスクリーンバーを消すには

[OSD] をくり返し押して消します。

## ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。

SOURCE [ を押しながら



[EJECT] を2秒以上押す



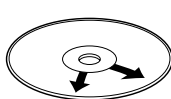
- 「NO EJECT」と点滅表示され、ディスクの取り出しができなくなります。[▲]を押してコントロールパネルを開けることはできますが、ディスクは出てきません。
- 解除するには  
もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」と点滅表示され、ディスクの取り出しができるようになります。

## ＜お知らせ＞

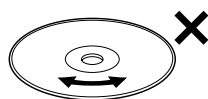
- 本機の動作が不具合などで、リセットボタン(⇒ 54ページ)を押すと盗難防止機能は解除されます。

## ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側にふく。



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

# デュアルゾーン機能を使う

この機能は KD-DV6100 のみの機能です。

## ヘッドホンで聞く

KD-DV6100では、2つの異なったソース(音源)を操作することができます(デュアルゾーン)。

本体背面にある2nd AUDIO OUT端子にヘッドホンを接続すると、「DISC」の音声を聞くことができます。このとき、本機に接続したスピーカーからは異なるソース(音源)の音声を聞くことができます。

## リモコンでデュアルゾーンを「入」にする

### 1 **DUAL** を押す

「DUAL ON」が表示され、デュアルゾーン機能が「入」になります。

本機のソース(音源)が「DISC」になり、2nd AUDIO OUT端子に接続したヘッドホンからは、「DISC」の音声が聞こえるようになります。

### 2 本体の **SOURCE** を押してスピーカー音声のソース(音源)を切替える

このときヘッドホンの音声は、ソース(音源)が「DISC」のまま変わりません。

リモコンからはソース(音源)は切替えられません。

### 3 **SHIFT** を押しながら **VOL** **+** **2nd VOL** **-** を押してヘッドホンの音量を調節する

## 本体のボタンでデュアルゾーンを「入」にする

### 1 **MODE** を押す

**M**

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

### 2 **10 DUAL** を押す

**4**

「DUAL ON」が表示され、デュアルゾーン機能が「入」になります。

同じ手順をくり返して「DUAL OFF」を選べると、デュアルゾーンは解除されます。

## 〈ご注意〉

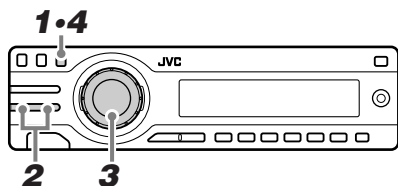
- 運転者は、運転中にヘッドホンを使用しないでください。外部の音が聞こえない状態で自動車を運転するのは大変危険です。
- 音量を調節する前にヘッドホンを使用しないでください。

## 〈お知らせ〉

- デュアルゾーン機能を「入」にして「DISC」以外のソース(音源)をスピーカーで聞いていると、モニター画面に映像やコントロール画面が映ります。デュアルゾーン機能を「切」にすると、モニター画面の表示は消えます。

# SELボタンを使った各種設定と調節

## PSMモードの設定方法



**1** SELを2秒以上押す

**2** 右向きまたは左向きを押して項目を選ぶ

→ 下の「PSMモードの一覧」をご覧ください。

**3** 回転を回して設定または調節をする

→ 各項目の設定の詳細は、44、45ページをご覧ください。

**4** SELを押す

・ 押さないときは、15秒後に自動で終了します。

### 〈お知らせ〉

- ・ 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- ・ バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

## PSMモードの一覧

設定内容の太字は出荷時の設定です。

モード	設定	設定内容	参照ページ
DEMO	デモ設定	<b>DEMO ON</b> , DEMO OFF	44ページ
CLOCK H	時刻設定(時)	1~12	44ページ
CLOCK M	時刻設定(分)	00~59	44ページ
LEVEL	レベルメーター設定	<b>ON</b> , OFF	44ページ
DIMMER	ディマー設定	<b>AUTO</b> , OFF, ON	44ページ
MUTING	ミュート設定	MUTING 1/2, <b>OFF</b>	44ページ
SCROLL	スクロール設定	<b>ONCE</b> , AUTO, OFF	44ページ
WOOFER*1	サブウーハー設定	HIGH, <b>MID</b> , LOW	45ページ
HPF*1	ハイパスフィルター設定	HPF <b>ON</b> , HPF OFF	45ページ
EXT IN*2	外部機器設定	<b>CHANGER</b> , EXT IN	45ページ
TAG DISP	タグ表示設定	<b>TAG ON</b> , TAG OFF	45ページ
AMP GAIN	アンプ出力設定	HIGH PWR, LOW PWR, <b>OFF</b> *3	45ページ

\*1 KD-DV6100のみのモードです。

\*2 KD-DV5100のみのモードです。

ソース(音源)が「CD-CH」または「EXT IN」のときは選べません。

\*3 KD-DV6100のみの設定項目です。

# SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

## PSMモードの機能説明

### DEMO(デモ)

20秒以上操作をしないと、自動でデモ表示をさせるかどうかを設定します。(初期設定：「DEMO ON」)

- DEMO ON : デモ機能を「入」にします。
- DEMO OFF : デモ機能を「切」にします。

### CLOCK H/M(クロック)

「時(H)」 「分(M)」ごとに、時刻を設定します。時計は12時間表示です。(初期設定：「1:00」)

### LEVEL(レベル)

音量レベルメーターを表示させるかどうかを設定します。(初期設定：「ON」)

- ON : レベルメーターを表示します。
- OFF : サウンドモードが表示されます。

### DIMMER(ディマー)

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。(初期設定：「AUTO」)

- AUTO : 車両のライトの「ON/OFF」に連動して明るさが変わります。  
(本機の イルミネーションコントロール コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- OFF : 明るさは変わりません。
- ON : 常時暗くなります。

### MUTING(ミュートイング)

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。(初期設定：「OFF」)

- MUTING 1 : ミュートイング コード(茶)を接続したあと、通常はこの位置で使います。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- MUTING 2 : MUTING 1ではミュートイングが「入/切」しないとき。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- OFF : 本機能を使用しないとき。またはMUTING 1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この位置にします。

なお、ミュートイングによって音声が出ないときは、本機の表示窓に「MUTING」が点滅表示されます。

市販のカーナビゲーションの中には、本機能が正しく動作しないものもあります。

### SCROLL(スクロール)

表示窓の文字表示(8文字以上)がスクロール表示されるときモードを変えることができます。(初期設定：「ONCE」)

- ONCE : 名前表示を切換えたときまたはDISPボタンを押したとき、1回スクロールする。
- AUTO : 一定間隔でスクロールをくり返す。
- OFF : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールする。

## PSMモードの機能説明(つづき)

### KD-DV6100のみ

#### WOOFER(サブウーハー)

カットオフ周波数を設定します。(初期設定：「MID」)

- ・HIGH : カットオフ周波数を115Hzにするとき。
- ・MID : カットオフ周波数を85Hzにするとき。
- ・LOW : カットオフ周波数を55Hzにするとき。

### KD-DV6100のみ

#### HPF(ハイパスフィルター)

「WOOFER」設定で、サブウーハーに設定したカットオフ周波数に合わせて、内蔵アンプやLINE OUT端子からの出力信号に、ハイパスフィルターを働かせるかどうかの設定をします。(初期設定：「HPF OFF」)

- ・HPF ON : サブウーハーのカットオフ周波数以上の音声信号のみが送られます。
- ・HPF OFF : すべての周波数帯域を出力します。

### KD-DV5100のみ

#### EXT IN(外部機器入力)

CDチェンジャー端子にKS-U57を使用して他の機器を接続したときは「EXT IN」に切替えます。CDチェンジャー端子がEXT IN端子になります。(初期設定：「CHANGER」)

- ・CHANGER : CDチェンジャーを接続するとき選びます。
- ・EXT IN : KS-U57を使用して他の機器を接続するとき選びます。

ソース(音源)が、「CD-CH」または「EXT IN」のときには、このモードは選ばません。ラジオなど他のソース(音源)を選んでから設定を変更してください。

#### TAG DISP(タグ)

MP3/WMAディスクのTag表示を表示させるかどうかを設定することができます。(初期設定：「TAG ON」)

- ・TAG ON : Tag表示をする。
- ・TAG OFF : Tag表示をしない。

#### AMP GAIN(アンプゲイン)

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。また、KD-DV6100に限り本機を外付けアンプのプリアンプとして使うこともできます。(初期設定：「HIGH PWR」)

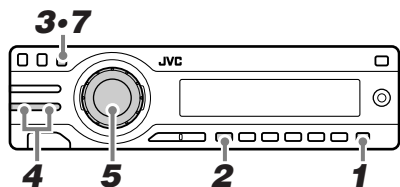
- ・HIGH PWR : スピーカーの最大入力が50Wを超えるとき  
(VOL 00 ~ VOL 50)
- ・LOW PWR : スピーカーの最大入力が50W以下のとき  
(VOL 00 ~ VOL 30)
- ・OFF\* : 内蔵のパワーアンプを使用しないとき

\* KD-DV6100のみ

# iEQ\*の使いかた

## EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ6つのEQパターンがメモリーされています。



### ● 選択可能なEQパターン

- ・ USER : ユーザー設定(フラット)
- ・ ROCK : ロック
- ・ CLASSIC : クラシック
- ・ POPS : ポップ
- ・ HIP HOP : ヒップホップ
- ・ JAZZ : ジャズ

## 1 MODEを押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

## 2 EQを押す

押すごとに、EQパターンが切りかわります。



さらに周波数ごとに詳細に設定するときは、次に進みます。

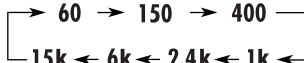
### ● EQを調節しメモリーする

## 3 手順2で調節したいEQパターンを選び、SELを押す

周波数表示が現れます。

## 4 周波数を選ぶ

押すごとに、周波数が切りかわります。



## 5 レベルを調節する

「-05」から「+05」の範囲で調節できます。

## 6 手順4と5をくり返して、他の周波数も調節する

## 7 SELを押す

手順2で選んだEQパターンに調節結果が記憶されます。

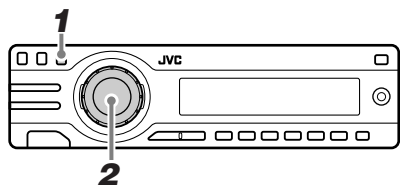
## 〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンは初期値(工場出荷時)に戻ります。
- 各EQパターンの初期設定は次のようになっています。

	60	150	400	1k	2.4k	6k	15k
USER	00	00	00	00	00	00	00
ROCK	+03	+02	00	00	+01	+02	+01
CLASSIC	+01	+03	+01	00	00	+02	00
POPS	00	+02	00	00	00	+01	+02
HIP HOP	+04	+01	-01	-02	00	+01	00
JAZZ	+03	+02	+01	+01	+01	+03	+01

\* iEQは：  
intelligent Equalizer(インテリジェントイコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称です。

# 音量・音質の調節



## ●調節項目

- **FAD** : 4スピーカー接続のとき、前後の音量調節をします。  
2スピーカー接続のときには「00」に調節してください。
- **BAL** : 左右の音量バランスを調節します。
- **LOUD** : 高域と低域を強調することで、音量が低いときでもバランスのとれたサウンドがお楽しみいただけます。
- **SUB. W\*** : サブウーハーの出力レベルを調節します。  
**KD-DV6100**に限り設定できます。
- **VOL. A** : ソース(音源)が「AM」、「DISC」、「CD-CH」または「LINE IN」などのとき、FM放送の音よりも音量が大きい(または小さい)ときに音量差を調節することができます。ソース(音源)が「FM」のときは、「VOL. A」は「FIX」と表示されて調節できません。
- **VOL** : 通常の音量調節表示です。

## 1 SELを押す

押すごとに、項目が切替わります。



5秒以内に

## 2 を回してレベルを調節する

## ●初期設定と調節範囲

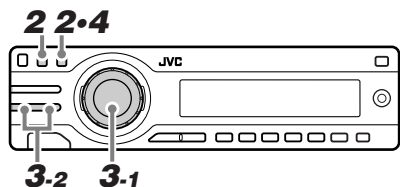
	初期設定	調節範囲
FAD (フェーダー)	00 (センター)	リア フロント R06~F06
BAL (バランス)	00 (センター)	レフト ライト L06~R06
LOUD (ラウドネス)	OFF	OFF/ON
SUB. W* (サブウーハー)	04	00~08
VOL. A (ソース間音量調節)	00	-05~+05
VOL (ボリューム)	15	00~50 (00~30**)

\* **KD-DV6100のみ**

\*\* 「AMP GAIN」設定(⇒ 45ページ)を「LOW PWR」に設定すると最大音量が「30」になります。

# 放送局名/ディスク名を登録する

30局分/最大8文字の放送局名と30枚分/最大32文字のディスク名を登録しておくことができます。

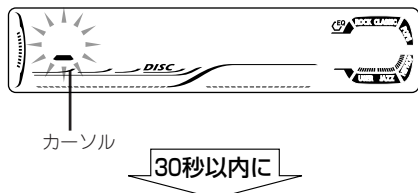


## 1 文字を入力したいソース (音源) を選ぶ

・ FM, AM, DISCのいずれかを選びます。

## 2 DISPを押しながらSELを2秒以上 押す

● 例：DISCのとき



### 登録可能な文字の一覧

A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X	Y	Z	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9
-	/	<	>	(空白)				

## 3 〇 で文字を選び、▶▶▶

でカーソルを移動させて、文字を入力する

3-1 文字を選び… 3-2 カーソルを右に移す



逆方向に 順方向に  
戻る 進める

カーソルを左に戻すときは ◀◀◀ を押す

(3-1と3-2をくり返す)

- ・ 文字を間違えたときは、◀◀◀でカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。
- ・ スペース(空白)を選んで▶▶▶を押すと、文字を消すこともできます。

30秒以内に

## 4 SELを押して入力を確定する

- 入力した文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。

### 〈お知らせ〉

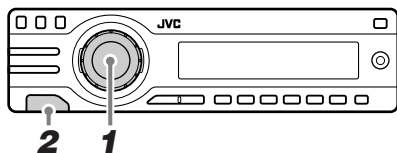
- CDテキストやMP3/WMAディスクには、ディスク名の登録ができません。
- 31局目の放送局名または31枚目のディスク名を入力しようとしても、「NAMEFULL」が点滅表示されて入力モードに入ることができません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
- 文字を入力したあとDISPボタンを1秒以上押し、一括して消去することができます。このあと必ずSELボタンを押して確定してください。これにより削除されます。




# コントロールパネルの着脱

## コントロールパネルを外す

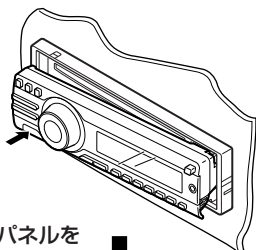
コントロールパネルを取り外すことができます。  
電源を「切」にしてから操作します。



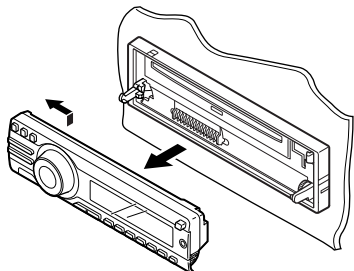
**1**  を1秒以上押して電源を「切」にする

**2**  を押す

コントロールパネルのロックが外れます。



コントロールパネルを少し持ち上げてゆっくり本体から外します。

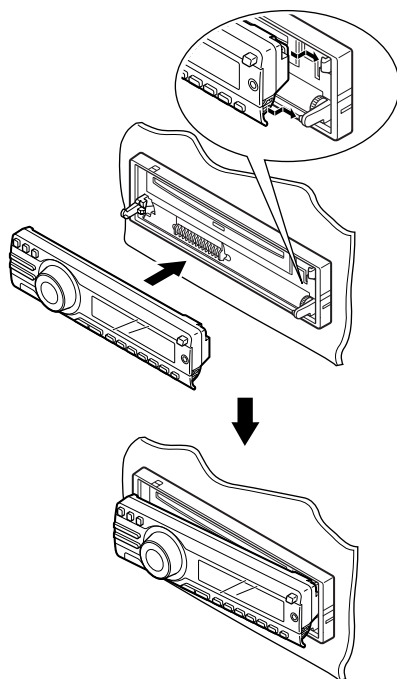


## 〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

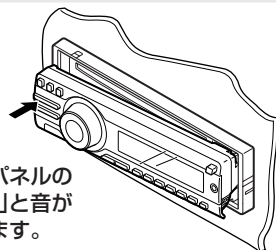
## コントロールパネルを取り付ける

**1** コントロールパネルを本体の内側の溝に右側から合わせる



**2** コントロールパネルの左側を静かに押して、本体に取り付ける

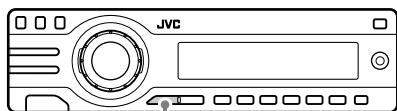
コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押します。



# CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいディスクを入れておきます。

## 全曲演奏(全ディスクのくり返し再生)



1

### 1 SOURCE [ を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

押すごとにソース(音源)が切替わります(→ 12ページ)。

本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。KD-DV5100では、「EXT IN」設定を「CHANGER」に設定します(→ 45ページ)。

- オーディオCDのとき  
最初のCDの1曲目から再生が始まります。



CDテキスト情報\*(ディスク名/アーティスト名/トラック名)のスクロール表示 (CD テキストのときのみ)。

再生経過時間      トラック番号



ディスク番号

\* 文字表示は半角英数字表示されます。日本語表記(漢字、ひらがな、カタカナ)には対応していません。

- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
  - ・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
  - ・CH-XシリーズのCDチェンジャー (CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

- MP3ディスクのとき  
ファイルチェック後、最初のフォルダのトラック1から再生が始まります。  
ディスク番号 ↓



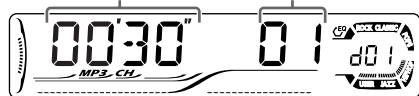
フォルダタイトル



フォルダ番号 ↓

Tag 情報 (アルバム名/アーティスト名/トラック名) のスクロール表示 (Tag 設定が「ON」のとき)。

再生経過時間      トラック番号



## ● 演奏をやめる

SOURCE [ を押して、他のソース(音源)に切替えます。または電源を「切」にします。

## 〈お知らせ〉

- MP3ディスクの再生は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- 多くの階層を持つディスクやCD-ROMに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。  
詳しくは、MP3チェンジャーに付属の「音楽用ファイルMP3 Q&A集」をご覧ください。

## ディスク演奏中の表示内容を変える

を押します。


押すごとに表示窓の表示内容が切替わります(→ 31ページ)。

## 頭出しをする(スキップ)

前後のトラックの頭にスキップすることができます。

### 1 または を押す

押すごとに前後のトラックの頭に移動します。

現在または前の   次のトラックのトラックの頭に進みます。に戻ります。

#### リモコンから操作する

 /  を押します。

## 早送り/早戻しをする(サーチ)



再生する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。

### 1 または を押し続ける

早戻し再生にな   早送り再生になります。

ボタンを離すと、通常の再生に戻ります。

#### リモコンから操作する



 /  を押し続けます。

## 次または前のフォルダにスキップする

MP3ディスクのときのみ使用できます。

### 1 または を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切りかわり、選んだフォルダの最初のトラックの再生が始まります。

前のフォルダに   次のフォルダ移動します。に移動します。


#### リモコンから操作する

 /  を押します。


## ディスクを選ぶ

### 1 数字ボタン(1~6)を押す

• 1~6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。



例: 3枚目を選ぶ :  を「ポン」と押します。

• 7~12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目を選ぶ :  を1秒以上押します。

選んだディスクの最初のトラックの再生が始まります。

#### リモコンから操作する

  を押すごとにディスクが切り替わります。

## 曲を10ずつダイレクトに選ぶ

MP3対応チェンジャーのみの機能です。

### 1 を押す

「MODE」と点滅表示されます。

5秒以内に

### 2 または を押してトラックを選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30...)のトラック番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつトラック番号が変わります。

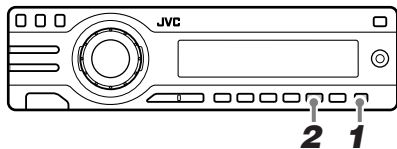
## 〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- MP3ディスクの場合、前後10曲ずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のトラックに限ります。

# CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く(つづき)

## いろいろな再生モードを使用する

### ● リピート再生



#### 1 MODE (M) を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

#### 2 11 RPT (5) を押す

押すごとにリピート再生のモードが切り替わります。

##### ● オーディオCDのとき

**TRK RPT** : 再生中のトラックをくり返す。  
RPT表示が点灯。

**DISC RPT** : 再生中のディスクの全トラックをくり返す。  
RPT表示と●表示が点灯。

**RPT OFF** : マガジン内の全ディスクをくり返す。

##### ● MP3ディスクのとき

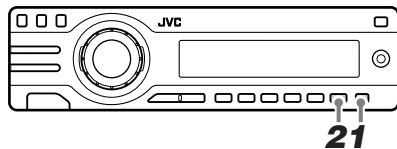
**TRK RPT** : 再生中のトラックをくり返す。  
RPT表示が点灯。

**FLDR RPT** : 再生中のフォルダをくり返す。RPT表示と■表示が点灯。

**DISC RPT** : 再生中のディスクの全トラックをくり返す。  
RPT表示と●表示が点灯。

**RPT OFF** : マガジン内の全ディスクをくり返す。

### ● ランダム再生



#### 1 MODE (M) を押す

「MODE」が点滅表示されます。

5秒以内に

#### 2 12 RND (6) を押す

押すごとにランダム再生のモードが切り替わります。

##### ● オーディオCDのとき

**DISC RND** : 再生中のディスク内の全トラックをランダムに再生。  
RND表示と●表示が点灯。

**MAG RND** : マガジン内の全ディスクをランダムに再生。  
RND表示が点灯。

**RND OFF** : ランダム再生を解除。

##### ● MP3ディスクのとき

**FLDR RND** : 再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生。  
RND表示と■表示が点灯。

**DISC RND** : 再生中のディスク内の全トラックをランダムに再生。  
RND表示と●表示が点灯。

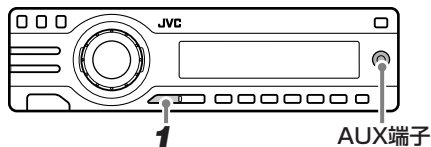
**MAG RND** : マガジン内の全ディスクをランダムに再生。  
RND表示が点灯。

**RND OFF** : ランダム再生を解除。

# 他の機器の音を聞く

## 準備

- LINE IN端子、AUX端子(KD-DV6100のみ)、チェンジャー端子(KD-DV5100のみ)に市販のカーAV機器を接続しておきます。  
→別紙の取付説明書参照



## 〈お知らせ〉

- LINE INまたはEXT INに接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、SELボタンをくり返し押して「VOL. A (ソース間音量調節)」を選び、回転ボリュームを回すと音量差を調節することができます(→ 47ページ)。

## 1 SOURCE [ をくり返し押して ソース(音源)を選ぶ

押すごとにソース(音源)が切替わりま  
す(→ 12ページ)。

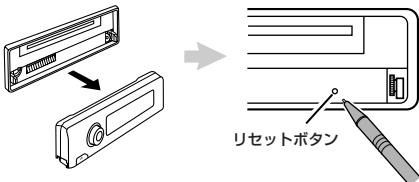
- LINE IN** : LINE IN端子に接続した機器の音を聞くととき選びます。
- AUX IN** : KD-DV6100のみ。コントロールパネルのAUX端子に接続した機器の音を聞くととき選びます。
- EXT IN** : KD-DV5100のみ。CDチェンジャーの代わりに、別売りのKS-U57を使用して接続した機器の音を聞くととき選びます。「EXT IN」設定(→ 45ページ)を「EXT IN」に設定しているときに選べます。

## 2 接続した機器で再生を始める

- 接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

# 故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → コントロールパネルを外し(⇒ 49ページ)、ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。</li> </ul>  <p>リセットボタン</p> <p>(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)</p>
<p>電源を切っても「ATT」が点滅表示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>⏻</b>(電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで1秒以上押す。</li> </ul>
<p>電源が入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源(ACCライン)のコードが接続されていないため</li> <li>● 車のエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」のため(⇒ 12ページ)</li> </ul>
<p>ディスクの取出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盗難防止状態になっている。 → SOURCEボタンを押しながら<b>⏻</b>(電源)/ATTボタンを2秒以上押す(⇒ 41ページ)。</li> </ul>
<p>ディスクを入れても音や映像が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量を適度に調節する。</li> <li>● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 → ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。</li> <li>● CD規格(CD-DA)に準拠しないCDを使用している。 → ディスクのマークを確認する(⇒ 19ページ)。</li> </ul>
<p>DVD-R/-RWやCD-R/RWの再生やスキップ演奏ができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイナライズ処理がされていないため → ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理をする。</li> </ul>
<p>ディスクの出し入れのとき音が途切れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この動作のときは、音声にミュートングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。</li> </ul>
<p>再生の途中でディスクが音飛びしたり停止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVD-R/CD-Rにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 → ラベルなどを張ったディスクは使用しない(⇒ 7ページ)。</li> </ul>
<p>フォルダやファイル名が「_」表示になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MP3/WMAディスクで、フォーマットが異なっているまたはフォルダ名やファイル名が半角英数字以外で入力されている(⇒ 21ページ)。</li> </ul>

症 状	原因・処置
MP3/WMAのフォルダ/ファイルが意図した順番に再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MP3/WMAファイルの再生順序は、使用したライティングソフトによる書き込み順でディスクに記録されるため、パソコン上のフォルダ/ファイル順と異なることがあります。</li> </ul>
MP3/WMAディスクの再生経過時間表示が実際の経過時間と異なる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MP3/WMAファイルがVBR(可変ビットレート)で作成されている。VBR(可変ビットレート)で作成されたファイルの時間表示には誤差が生じます。特に、早送り/早戻しをすると、経過時間が大きくずれることがあります。</li> </ul>
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。</li> <li>●オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を正しく接続する。</li> <li>●車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている場合、本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。</li> <li>●放送局の周波数に正しく合わせる。</li> <li>●携帯電話などを本機から離す。</li> </ul>
映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機とモニターの接続を確認し、モニター側の入力切換を適切に行う。</li> </ul>
映像の左右が途切れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「モニタータイプ」を「パンスキャン」に設定している。 ⇒「レターボックス」に設定する(⇒ 38ページ)。</li> </ul>
言語メニューで設定したものと異なる字幕/音声言語で再生される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定した字幕/音声言語がディスクに収録されていない。</li> <li>●ディスクによっては再生開始時の字幕/音声言語があらかじめ決められていることがあります。 ⇒再生開始後に切替えてください(⇒ 32ページ)。</li> </ul>

## こんな表示のときは

表 示	原因・処置
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスク名や曲名が記録されていない。 ⇒ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。</li> <li>●放送局名が入力されていない。 ⇒放送局名を入力する。</li> </ul>
PLEASEとEJECTが交互に表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクの読み取りでエラーが発生したため。 ⇒▲(ディスク取出し)ボタンを押してディスクを取出し、入れ直す。または他のディスクを入れ直して本機が異常でないか確かめる。</li> <li>●CD-R/RW等のディスクに記録したデータが劣化している(⇒ 20ページ)。</li> <li>●ファイナライズ処理がされていない(⇒ 20ページ)。 ⇒ファイナライズ処理したディスクを入れる。</li> </ul>

# 故障かな?と思う前に (つづき)

表示	原因・処置
00' 00"	<ul style="list-style-type: none"><li>● Mixed-CDを再生しようとしている。 → 数字ボタンなどを押して2曲目以降にスキップする。</li></ul>
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体にディスクを入れない状態でデュアルゾーン機能を「入」にしている。 → デュアルゾーン機能を「切」にするか、ディスクを挿入します。</li></ul>
<b>● CDチェンジャー</b>	
NO MAG	<ul style="list-style-type: none"><li>● マガジンが入っていないときソース(音源)を「CD-CH (CDチェンジャー)」にしたため → マガジンを入れる。</li></ul>
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"><li>● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。</li></ul>
RESET <sup>数字</sup> 0	<ul style="list-style-type: none"><li>● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。</li></ul>

## ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

## 〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。



# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

54～56ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したDVD/CDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様の要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎( ) -

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## DVD/CDプレーヤー部

### KD-DV6100/KD-DV5100共通

- 再生可能ディスク：DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、DVD-R/RW (DVDビデオフォーマット、UDFブリッジフォーマット) CD-R/RW (ビデオCD、オーディオCD、IS09660)  
：JEITA標準、
- 映像信号方式：NTSCカラービジョン方式
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：DVD (サンプリング周波数48kHz/96kHz) 16Hz ~ 22kHz  
CD (サンプリング周波数44.1kHz) 16Hz ~ 20kHz
- ダイナミックレンジ：96dB
- S N 比：98dB

## チューナー部

### KD-DV6100/KD-DV5100共通

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1 (JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz ~ 90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf (1.43μV/75Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz ~ 1,629kHz
- 実用感度：27dBμ (22.4μV)

## オーディオアンプ部

### KD-DV6100

- 最大出力：フロント 50W+50W (4Ω, 1kHz)  
リア 50W+50W (4Ω, 1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω (4Ω~8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1  
：LINE IN (1系統)、1.5V/20kΩ  
：AUX (ø3.5ステレオミニ) ×1、1.5V/20kΩ
- 出力端子：VIDEO OUT×1  
1.0V(p-p)/75Ω、同期負  
：LINE OUT (2系統)、5.0V/20kΩ  
：2nd AUDIO OUT (ø3.5ステレオミニ) ×1、6mW/16Ω  
：DIGITAL OUT (光×1)、出力レベル -21dBm ~ -15dBm  
：SUB WOOFER (1系統)、2.0V/20kΩ

### KD-DV5100

- 最大出力：フロント 50W+50W (4Ω, 1kHz)  
リア 50W+50W (4Ω, 1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω (4Ω~8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1  
LINE IN (1系統)、1.5V/20kΩ
- 出力端子：VIDEO OUT×1  
1.0V(p-p)/75Ω、同期負  
：LINE OUT (1系統)、2.5V/20kΩ  
：DIGITAL OUT (光×1)、出力レベル -21dBm ~ -15dBm

電源部・その他

KD-DV6100/KD-DV5100共通

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)  
マイナースアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行158mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行175mm
- 質量：約1.6kg(付属品含まず)

付属品

- ・リモコン(RM-RK230) ..... 1
- ・電池(CR2025) ..... 1
- ・接続コード(16ピンコネクター) ..... 1
- ・ネジ(M5×8mm) ..... 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) ..... 4
- ・コードコネクター ..... 1

背面端子からの音声出力について


本機背面DIGITAL OUT端子からの出力は、再生するディスクと「デジタルOUT」の設定(⇒ 38ページ)によって異なります。

また「デジタルOUT」が「PCMのみ」のとき、「ダウンミックス」(⇒ 38ページ)が「ステレオ」に設定されていると、ドルビーサラウンド信号は出力されません。

再生するディスク	DIGITAL OUT端子から出力される信号		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビット リニアPCMのDVD	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM*		
96kHz、リニアPCMのDVD			
DTSのDVD	DTSビットストリーム		
ドルビーデジタルのDVD	ドルビーデジタルビットストリーム		
MPEGオーディオのDVD	MPEGビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
オーディオCD/ビデオCD	44.1/48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3/WMA	32/44.1/48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		

\* 著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。  
 DTSおよびDTS Digital Outは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用するにはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リパースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは、DVDフォーマットロライセンシング(株)の商標です。

# お手入れ

## 本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

## ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

## 別売りのオプション品

- ・ RCA PIN コード : CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-520E(長さ2m)
- ・ ビデオコード : VX-105E(長さ0.5m)  
VX-110E(長さ1m)  
VX-120E(長さ2m)
- ・ 光デジタルケーブル : XN-110SA(長さ1m)  
XN-120SA(長さ2m)
- ・ 変換コード : KS-U57

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。  
(品番は変更されることがあります)

## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の

「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧ください。

 0120-977-846 (フリーコール)  
FAX (027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**57ページ**をご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

## 日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12